

教育・施設管理事業部

(1) 単位互換事業

【概要および実績】

単位互換事業は、1994年度の制度発足以来、財団における大学間連携事業の基幹的な取組みの一つとして位置づけられている。先の大学政策委員会における「第4ステージプラン(2014~2018年度)」に向けた検討では、主に、①単位互換科目の特色化、②科目内容・到達度等に関する点検評価機能の構築、③科目の打ち出しを強化するための広報戦略展開の3点を課題に据えて検討を行った。

2014年度は、これらの課題解決に向けた検討を行った結果、2015年度新たに「京都世界遺産 PBL科目」の運営に取り組むこととなった。

◆単位互換科目の開講

- ・加盟校提供科目：516科目（Eラーニング科目16、プラザ科目70、オンキャンパス科目430）
- ・特色化を図るためのコーディネート科目：22科目
- ・出願者（全体）：前期4,738名、追加144名、後期405名、

区分	前期	追加	後期
プラザ科目	1,912名	93名	179名
コーディネート科目	733名	26名	61名
eラーニング科目	799名	9名	-
オンキャンパス科目	1,294名	16名	165名

※単位互換科目のうち出願者が0名であった科目は148科目（内、プラザ科目1科目）

(2) 生涯学習事業（京カレッジ）

【概要および実績】

本事業は、「大学と地域社会、行政及び産業界との連携等による生涯学習事業」の推進を目的とし、1997年より京都市と連携して「シティカレッジ」として発足し、社会人を対象に大学レベルの高度な学習機会を提供してきた。

2007年には、大学から提供される科目を①大学講義、②市民教養講座、③資格取得講座、④京都力養成コースの4つの柱に分け、多種多様な「知」をアラカルト方式で学習するだけでなく、体系的に学ぶことができる仕組みへと改編し、「京（みやこ）カレッジ」としてリニューアルした。その後、現在に至るまで、「大学のまち京都」ならでの生涯学習事業として実施してきている。

しかしながら、2014年度よりスタートした第4ステージプランにおいて、①提供科目の整理、②他の生涯学習事業と連携した広報体制の確立等の課題を解決するとともに、新たな生涯学習事業への転換に向けて、科目提供の枠組み等の再構築を図っていく必要性が指摘されている。

◆京カレッジの開講

- ・提供科目数（34大学・1機関）：373科目（2013年度は428科目）
- ・出願科目数：159科目（2013前年度は207科目）
- ・出願者実数：729名
前期698名（2013前年度は506名）、後期31名（2013前年度は29名）
- ・出願者延べ数：1,748名
前期1,701名（2013前年度は1,074名）、後期47名（2013前年度は40名）

◆財団主催：京都学講座の開講

テーマ 「京を旅する～観光のまなざし～」

会場 キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室

日程 下記のとおり 全10回（前期・後期各5回、実地2回） 毎回10時30分～12時00分

	開講テーマ	講師氏名（所属）	出席数
第1回 5/24	海外からのツーリズム～京都の人気スポットとその変容～	村田典生氏 （佛教学）	114名
第2回 5/31	「そうだ京都、行こう。」～これまでの20年と、これから～	安齋辰哉氏 （JR 東海）	104名
第3回 6/7	修学旅行と近代京都～奈良女子高等師範学校の経験～	高木博士氏 （京都大学）	94名
第4回 6/21	江戸時代の物見遊山～名所案内記・日記から見る名所と都市～	塚本章宏氏 （徳島大学）	106名
第5回 7/12	旅のみやげ～名物から見た日本近代～	鈴木雄一郎氏 （立教大学）	86名
実地講座 7/12	和菓子作り体験	会場：甘春堂	23名
第6回 10/4	旅の楽しみ～江戸時代の京都における娯楽～	山近博義氏 （大阪教育大学）	83名
第7回 10/18	旅と鉄道～観光・フォークロリズムからみた京都～	斉藤利彦氏 （佛教学）	83名
第8回 11/1	旅と社寺参詣～『名所』のはじまりはじまり～	坂井輝久氏 （清水寺）	76名
第9回 11/22	旅のガイド～京都観光ガイドの魅力～	宇川新一氏 （京都SKY観光ガイド）	83名
第10回 12/6	京に泊る ホテルに泊る～創業126年京都ホテルの伝統と明日～	大岡育男 （京都ホテルオークラ）	83名
実地講座 12/6	フランス料理の楽しみ方、ワインの選び方	会場：京都ホテルオークラ ビストロ	35名

（3）施設管理事業（指定管理）

【概要および実績】

本事業では、京都市との指定管理協定（※）に基づき、キャンパスプラザ京都の施設管理（修繕および業者指導業務等）、施設運営（大学および一般利用者への貸館業務等）に関して統括管理・運営を行った。 ※指定管理協定期間：2011年4月～2015年3月の4年間

【特記事項】

- 2015年4月～2019年3月の4年間についても、指定管理者として指定された。
- AV機器リース更新、および基幹サーバのリプレースを完了した。
- 教育設備・機器等整備積立金の取扱いについて、資金運用計画を作成した。

各種委員会等の開催状況

(1) 単位互換事業・生涯学習事業（京カレッジ）共通

①教育事業企画検討委員会

- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| 5月7日（水） | 第1回（主要議題：単位互換、京カレッジ、eラーニングのあり方等） |
| 6月3日（火） | 第2回（主要議題：推進課題の選定と優先順位等） |
| 6月27日（金） | 第3回（主要議題：各事業の今後の方向性、京都世界遺産 PBL の検討等） |
| 9月24日（水） | 第4回（主要議題：担当者会議の資料確認） |
| 10月3日（金）～8日（水） | 第5回（主要議題：プラザ推奨科目の採択審議）[メール審議] |
| 10月8日（水） | 第6回（主要議題：プラザ推奨科目の採択承認）[メール審議] |
| 10月17日（金）～22日（水） | 第7回（主要議題：プラザ推奨科目の採択審議） |
| 10月22日（水） | 第8回（主要議題：プラザ推奨科目の採択承認） |

②単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 7月11日（金） | 第1回（主要議題：単位互換・京カレ共通・I N T単位認定に向けて 他） |
| 11月14日（金） | 第2回（主要議題：単位互換・京カレ共通・各事業の報告、連絡事項 他） |

(2) 単位互換事業

①単位互換科目開設検討ワーキンググループ

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 3月20日（木） | 第1回（主要議題：新規P B L科目の開設について 等） |
| 5月2日（金） | 第2回（主要議題：新規P B L科目の開設・広報について 等） |
| 6月13日（金） | 第3回（主要議題：新規P B L科目の詳細・教員について 等） |

(3) 生涯学習事業（京カレッジ）

①京カレッジ企画検討会議

- | | |
|----------|------------------------------------|
| 7月9日（水） | 第1回（主要議題：委員長の選出、今年度出願状況、次年度開講準備、他） |
| 11月6日（木） | 第2回（主要議題：今年度後期出願状況、次年度開講準備 他） |

②京都学企画検討委員会

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 6月12日（木） | 第1回（主要議題：次年度の講座の計画について 他） |
| 7月22日（火） | 第2回（主要議題：次年度全体テーマについて 他） |
| 10月7日（火） | 第3回（主要議題：次年度全体テーマについて 他） |
| 1月6日（火） | 第4回（主要議題：次年度開講概要、今年度実施報告 他） |

以 上

高大連携・インターンシップ事業部

(1) 京都高大連携研究協議会事業

【概要および実績】

京都高大連携研究協議会は、京都の「産・官・学（高校・大学）」が一堂に会し、「個別高校・大学間の『個と個の連携』ではなく、組織と組織による『面と面での連携』によって高大連携を実現して達成する」ことを目的とし、京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府私立中学高等学校連合会・京都商工会議所・大学コンソーシアム京都が構成団体となり、2003年5月に発足した。発足以来、京都独自の高大連携について様々な角度から研究・開発に取り組むために様々な事業の展開を行っている。なお、本事業については大学コンソーシアム京都が主催する事業ではなく、「京都高大連携研究協議会事業」として京都高大連携研究協議会の会議体において企画内容の検討・実施の是非が決定される。

2013年度までは京都の大学「学び」フォーラムに関する事業は「高大接続事業」として実施をしていたが、2014年度は会場が京都のみとなったことから、京都高大連携研究協議会事業として実施した。「キャリア教育」に重点を置き、企画内容を検討し、展開した。

◆高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における「国内動向の情報共有と京都における取り組みの情報発信」を目的として実施され、2014年度で第12回目を迎えた。

<概要・部構成・参加者数等>

日程	2014年12月5日（金）9時30分～17時15分	
会場	キャンパスプラザ京都	
主催	京都高大連携研究協議会（京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、公益財団法人大学コンソーシアム京都）	
テーマ	高大接続と学力形成 ～達成度テスト（仮称）について考える～	
◇第1部（基調報告・特別講演・実践事例紹介・ディスカッション）		
09:30～ 09:35	開会挨拶 北村 聡（京都高大連携研究協議会運営委員会 委員長／京都外大西高等学校 校長）	180名 （部分参加を含む）
09:35～ 09:45	基調報告 中村 博幸（大学コンソーシアム京都 高大連携推進室 コーディネーター／京都文教大学 臨床心理学部 教授）	
09:45～ 10:35	特別講演「大学入試の日本的風土は変えられるか ―達成度テスト（仮称）を考える―」 荒井 克弘（独立行政法人大学入試センター 副所長）	
10:45～ 10:35	実践事例紹介①「大阪府教育センター附属高等学校『探究ナビ』の実践 ―新たな『学び』が、ここから始まります。―」 恩知 理加（大阪府教育センター附属高等学校 教頭） 山元 聡（大阪府教育センター附属高等学校 首席兼探究科主任）	
	実践事例紹介②「高経大+高経附『高大コラボゼミ』 ―双方向的な高大連携の試み」 矢野 修一（高崎経済大学 教授／高崎経済大学附属高校 顧問）	
	実践事例紹介③「京都工芸繊維大学『ダビンチ入試』―テストで何をどのように測るか?―」 内村 浩（大学コンソーシアム京都高大連携推進室 室長／京都工芸繊維大学アドミッションセンター 教授）	
13:15～ 14:45	ディスカッション コーディネーター 椋本 洋（大学コンソーシアム京都高大連携推進室 アドバイザー／立命館大学理工学部 講師）	
◇第2部（分科会）		
15:15～	第1分科会【表現技法】 「授業リフレクションとしてのラベルワークの実践」	41名

17:15	第2分科会【数学】 「高大連携による数学的活動を取り入れた教材の紹介と実践報告」	33名
	第3分科会【英語】 「発信力を重視した英語コミュニケーション能力の育成を目指した指導と評価について」	17名
	第4分科会【理科】 「高大連携による龍谷大学附属平安高等学校における理科の取り組み」	21名

- ・京都高大連携研究協議会関係者 39名 ・一般参加者 200名
- ・大学関係者参加者数（教員・職員・学生を含む） ① 加盟校 37名、② 非加盟校 39名

◆実践研究共同教育プログラム

高校教員と大学教員が共同で授業プログラムを開発し、高校の正課授業の中で継続して実践する取り組み。生徒には大学での「学び」に触れる機会、高校・大学教員には教授法の共有やそれぞれの現状を把握する機会となっている。

<2014年度実施状況>

高等学校名	京都市立洛陽工業高等学校（3年目：最終年度）
対象	3年生1クラス11名
教科/科目	創造技術科 電気コース（科目名：課題研究）
テーマ	Arduinoを用いた災害救助ローバーの製作
日程	2014年6月2日～2015年1月26日（計13回）
担当者（高等学校）	有本 淳一（京都市立洛陽工業高等学校 教諭）
授業担当者（高等学校）	有本 淳一（京都市立洛陽工業高等学校 教諭） 高垣 瑛（京都市立洛陽工業高等学校 常勤講師） 久米川 能久（京都市立洛陽工業高等学校 非常勤講師）
授業担当者（大学）	長岡 直人（同志社大学 理工学部 教授） 川畑 良尚（立命館大学 理工学部 准教授）
学習到達目標・狙い	プロトタイピング・システムの構築において近年世界的に注目されているマイコンボードであるArduinoを使用したものづくりを通して、アルゴリズム、コンピュータ制御、ものづくりの技術や発想を学習することを目標とする。ものづくりに関連して、『物理』分野の電子回路や、半導体に関する知識を探究的に習得、復習するPBL（Project Based Learning）の手法、高大連携によるPBL授業の手法の研究も狙いとする。
成果	市販のワークキットを改造することにより、ものづくりの基礎的な考え方や技術を習得することができた。また、Arduinoを使ったアルゴリズム、プログラミング、制御、さらにプロトタイピング・システムに関する理解を深めることもできた。 高大連携によるPBL授業の手法についても研究を進めることができ、高大での役割分担や連携のあり方について実践を行うことができた。特に高校『物理』の内容をArduinoを使って展開する授業の方法について実践事例を作ることができ、この内容を実践論文等にまとめていくことを構想している。

高等学校名	京都府立園部高等学校（3年目：最終年度）
対象	京都国際科1学年31名
教科/科目	「国際理解Ⅰ」
テーマ	今日の世界を知る～明日の世界を考える
日程	2014年9月18日～2015年3月12日（計7回）
担当者（高等学校）	栄永 唯利（京都府立園部高等学校 教諭）
授業担当者（高等学校）	栄永 唯利（京都府立園部高等学校 教諭）
授業担当者（大学）	羽藤 由美（京都工芸繊維大学 大学院 工芸科学研究科 教授） 内藤登世一（京都学園大学 人間文化学部 教授） 戸田 五郎（京都産業大学 法学部 教授）

学習到達目標・狙い	今日の国際社会を概観し、国際政治・国際経済・国際関係の基礎知識を身に付けさせながら、国際問題への関心とメディアリテラシーを高め、国際情勢を読み解く力を養う。 高等学校での学習活動だけでなく、今後引き続いて生徒各自がグローバル人材として必要とされる力を身につけていくために、国際社会の実情について知ると共に、課題意識を持ち、国際社会と自分との関わりを考える中から、自らの進路への見通しを築いていくことを目指す。
成果	1年間の学習を通じて生徒に見られた成果は以下の通り： ・英語学習の意義を再確認し、より実践的な英語を学ぼうとする態度が高まった。 ・地球規模の環境問題に対する考察から、国際協力の重要性について理解が深まった。 ・国家の主権に基づく国際社会の構造について理解することで、国際社会の協調と平和共存の意義を理解すると共に、現在世界各地で続く地域紛争と、日本の置かれている立場についての問題意識を強めた。 ・国際問題の解決に向けて、さらに積極的に学習を進めようとする態度が培われた。

高等学校名	京都府立鴨沂高等学校（2年目）
対象	[日本史]日本史B：3学年2講座23名+23名 [物理]物理：3学年1講座18名、物理基礎：2学年1講座21名
教科/科目	「地理歴史科」及び「理科」（日本史B・物理）
テーマ	フィールドワーク等を中心とした主体学習法における高大接続の確立
日程	[日本史]2014年10月22日～11月4日（計3回） [物理]2014年12月1日（計1回）
担当者（高等学校）	齋藤清嗣（京都府立鴨沂高等学校 教諭）
授業担当者（高等学校）	島田雄介（京都府立鴨沂高等学校 教諭） 星原庸平（京都府立鴨沂高等学校 教諭）
授業担当者（大学）	川端泰幸（大谷大学 文学部 講師） 内村 浩（京都工芸繊維大学 アドミッションセンター 教授）
学習到達目標・狙い	フィールドワークや協同学習などの、生徒が主体的に取り組む学習形態（アクティブラーニング）を実践することにより、学習を効果的にすすめることをねらいとする。実践にあたっては、高等学校・大学それぞれで研究が進められてきた成果を踏まえるとともに、高大接続の観点も取り入れながら行うものとする。
成果	[日本史] 生涯学習の観点から、京都の歴史を考察する基礎について充実した学習活動が行えた。また、今後の地理歴史科学習を展開するうえで、地域と連携した学習計画について展望が持てた。 [物理] 講義型の授業から生徒同士の教え合い中心の授業（協同学習）に転換することで、生徒の学習観に向き合う姿勢に変化が見られるようになった。また指導者自身が教材観や生徒観を深めることにも繋がり、今後の授業計画や生徒への対応を改善する材料を多く得られた。

◆Kyoto カタリ場

高校生が将来に向かうための学習意欲を喚起すること、また、各校におけるキャリア教育の推進に寄与することを目的に実施。

<2014年度実施スケジュール>

高校名		対象		実施スケジュール		
京都府立	須知高校	2年生	94名	9月26日（金）	13:40～15:30	新規
京都市立	紫野高校	1年生	364名	10月14日（火）	10:00～11:30	2年目
京都府立	東稜高校	1年生	277名	12月5日（金）	11:10～12:30	2年目
京都府立	向陽高校	1年生	199名	1月28日（水）	13:25～15:15	2年目
京都府立	網野高校	1年生	137名	2月4日（水）	13:40～15:30	新規
京都府立	西城陽高校	1年生	279名	2月18日（水）	13:45～15:35	2年目
京都府立	桃山高校	1年生	280名	2月19日（木）	14:05～15:55	2年目
京都府立	東宇治高校	1年生	279名	2月20日（金）	13:30～15:20	2年目

◆京都府北部地域対象キャリア教育企画

京都府南部地域と比較して、日常的に「大学」と接する機会が少ない京都府北部地域の高校生を対象に、大学コンソーシアム京都加盟大学の教員・学生ならびに社会人ゲストスピーカーによるキャリア教育企画を実施する。高校生が大学での「学び」や大学生と接することで高校生自身が将来を自ら設計し、進学意欲を喚起することを目的に実施。

・府立久美浜高等学校：「まるっとく in 久美浜」

日時：2014年9月20日（土）11時～16時

会場：豪商稲葉本家、如意寺

参加：高校生25名（久美浜高校の1年生8名・2年生17名）

大学生19名（コンソ加盟大学中心）

地域の社会人8名（NPO法人わくわくする久美浜を作る会5名、京丹後市久美浜市民局3名）

協力：一般社団法人 京都府北部地域・大学連繋機構

・府立綾部高等学校：「まるっとく in 綾部」

日時：2015年3月13日（金）、14日（土）

会場：里山交流研修センター（綾部市）

参加：高校生16名（綾部高校生15名・福知山高校生1名）

大学生15名（コンソ加盟大学中心）

地域の社会人13名（旧・豊里西小学校区6名、旧・豊里西小学校区以外7名）

協力：一般社団法人 京都府北部地域・大学連繋機構

特定非営利活動法人 里山ねっと・あやべ

◆女子生徒・女子大学生対象キャリア教育企画

これから進路選択を行おうとする高校生や大学生が、実際に社会で働く女性から多様なキャリア経験の現実を拝聴し、懇談する機会を設けることにより、ワークライフバランスが男性以上に求められている現実や、長期的視点でキャリア形成を考えること、ひいては、進路に対する自覚の確立と次世代の職業人としての意識向上・勤労観・職業観を持つ必要性を認識し、今後の進路選択に役立ててもらうことを目的とする。

・「ガールズトーク in Kyoto」

日時：2015年2月14日（土）13時30分～16時

会場：キャンパスプラザ京都 2階ホール

参加：高校生25名（1年生10名、2年生13名、3年生2名）

大学生14名（1年生3名、2年生7名、3年生4名）

◆高校生と大学生の交流企画

「高校生に、京都学生祭典実行委員会に所属している多様な大学生の生の声を聴いてもらうことで、京都の大学やその他の課外活動について知ってもらい、自分の持っている選択肢の幅を広げ、自分自身を見つめ直す場を作る」ことをコンセプトに実施。

日時 6月14日（土）10時～12時

場所 キャンパスプラザ京都 2階ホール

参加 海星高校（三重県）の生徒43名（うち留学生2名）、京都学生祭典実行委員30名

◆京都の大学「学び」フォーラム

京都府内を中心とした高校1・2年生ならびに保護者を主な対象とし、加盟大学・短期大学による模擬講義・体験型講座、大学生との交流企画、その他の企画等を通じて、大学での「学び」の魅力を伝え、高校生の学習意欲の喚起・進学意識の向上を目的に実施。

<概要・参加者数等>

日程	2014年10月26日(日)9時30分～15時40分
会場	同志社大学 今出川キャンパス 良心館
主催	京都高大連携研究協議会(京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、公益財団法人大学コンソーシアム京都)
協賛	大学生協京都事業連合、(株)フラットエージェンシー、(株)共立メンテナンス
後援(予定)	文部科学省、全国高等学校進路指導協議会、日本私立中学高等学校連合会、公益財団法人日本進路指導協会、京都府、京都市、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、滋賀県教育委員会、大阪市教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会、滋賀県私立中学高等学校連合会
参加大学数	29大学
参加者数	1,985名(内訳:高校生1,522名 / 保護者・教員374名 / その他89名) *送迎バス利用含む(京都府北部地域の高校向け送迎バスでの参加者数:512名)
企画内容	模擬講義(31講義)、体験型講座(13講座)、保護者向け講座(3講座)、高校教員向け講座(1講座)、文章表現UP講座、数学講座、高校生向けキャリア講座、現役大学生企画、大学別相談ブース、キャンパスライフ紹介・相談コーナー

(2) インターンシップ事業

【概要および実績】

財団が実施するインターンシップ・プログラムは、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」、「高い職業意識の育成」、「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした教育プログラムである。

2014年度は、受け入れ先、コーディネーターや学生などの数・量的な面だけでなく、事前事後学習内容も含めたプログラム全体の質的充実や見直し・改善を進める。具体的にはビジネス・パブリックコースでは、事前・事後学習プログラムの内容充実に向けた検討、各大学から委嘱されるコーディネーターの安定的確保を課題とする。プログレスコースでは、魅力的な受け入れ先企業・団体の確保のため、受け入れ先の過重負担軽減策を策定するとともに、コース運営の円滑化のためプロジェクト遂行上のコーディネーターの役割をより明確化した。

新任を含めたコーディネーター相互の連携強化、事務処理の正確性向上・迅速化を目的とした受け入れ先エントリーシステムの再構築、ならびに学生出願受付システム(Webエントリー)の構築が全コース共通課題として残った。

◆加盟校への出向ガイダンス

日程: 下記、実施スケジュールのとおり

◆ビジネス・パブリックコース

日程: 以下、実績一覧のとおり

会場: 龍谷大学深草学舎、キャンパスプラザ京都

2014年度受入先企業・団体エントリー数: ビジネスコース 179 パブリックコース 57

(2013年度: ビジネスコース 176 パブリックコース 58)

出願・受入状況: 【受入先】登録236 受入189 【学生】555人出願 370名実習許可

(2013年度: 【受入先】登録234 受入195 【学生】580人出願 412名実習許可)

◆プログレスコース

日程: 以下、実績一覧のとおり

会場: キャンパスプラザ京都

2014年度受入先企業・団体: エントリー数 11、プロジェクト数 11

(2013年度: エントリー数 11、プロジェクト数 13)

出願・受入れ状況：【受入先】登録 11 受入 9 【学生】66 人出願 65 名実習許可
 (2013 年度：【受入先】登録 11 受入 7 【学生】47 人出願 45 名実習許可)

【実施スケジュール (主要事項)】

3 月 26 日 (水)	出向ガイダンス	同志社大学	今出川キャンパス
3 月 28 日 (金)	〃	〃	京田辺キャンパス
4 月 2 日 (水)	〃	龍谷大学	大宮キャンパス
4 月 4 日 (金)	〃	〃	深草キャンパス、京都学園大学
4 月 7 日 (月)	〃	〃	深草キャンパス、瀬田キャンパス
4 月 8 日 (火)	〃		瀬田キャンパス
4 月 9 日 (水)	〃	京都ノートルダム女子大学	
4 月 12 日 (土) 18:00~19:30	インターンシップ・プログラム事前説明会 (学生対象)		
4 月 12 日 (土)	出向ガイダンス	京都女子大学	
4 月 14 日 (月)	出向ガイダンス	京都教育大学	
4 月 15 日 (火)	〃	京都府立大学	
4 月 16 日 (水) 15:30~17:30	ビジネス・パブリックコース受入れ先担当者説明会		
4 月 17 日 (木) 18:15~21:00	プログレスコース説明会・相談会 (学生対象)		
4 月 18 日 (金)	出向ガイダンス	京都光華女子大学	
4 月 22 日 (火)	〃	同志社女子大学	京田辺キャンパス
4 月 23 日 (水)	〃	〃	今出川キャンパス
4 月 25 日 (金) 9:00~	学生 Web エントリー開始		~5/8 (木) 17:00
5 月 9 日 (金) 10 日 (土)	出願・面接		
5 月 31 日 (土)	選考結果発表		
6 月 5 日 (木)	科目担当者会議		
6 月 6 日 (金)	受講手続き		
6 月 7 日 (土)			
6 月 14 日 (土)	ビジネス・パブリックコース事前学習開始		
6 月 19 日 (木)	プログレスコース講義開始		
7 月 11 日 (金) 12 日 (土)	ビジネス・パブリックコース事前学習レポート提出		
8 月中旬 ~9 月中旬	ビジネス・パブリックコース実習		
9 月 27 日 (土)	ビジネス・パブリックコース事後学習		
10 月 2 日 (木) ~	プログレスコース フォローアップ		
10 月 3 日 (金) 4 日 (土)	ビジネス・パブリックコース事後学習レポート提出		
11 月 15 日 (土)	プログレスコース成果報告会		
11 月 20 日 (木)	プログレスコース学習レポートおよびプロジェクト報告書提出		
12 月 4 日 (木)	受入れ先・大学担当者意見交換会		
12 月 12 日 (金)	科目担当者会議		
1 月 15 日 (木)	プログレスコース振り返り会		
3 月 5 日 (木)	インターンシップ・プログラム大学担当者会議		
3 月 19 日 (木)	受入れ先情報を WEB 上に公開 (学生閲覧画面から確認可能)		

各種委員会等の開催状況

(1) 京都高大連携研究協議会事業

以下の①～④の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

① 京都高大連携研究協議会 役員会

- 7月31日(木) 第1回(主要議題:2014年度 京都高大連携研究協議会 会長・副会長の選任について) 書面会議にて開催
- 3月24日(火) 第2回(主要議題:2015年度 京都高大連携研究協議会 事業計画(案)について) 書面会議にて開催

② 京都高大連携研究協議会 運営委員会

- 6月20日(金) 第1回(主要議題:第12回高大連携教育フォーラム企画内容について他)
- 11月25日(火) 第2回(主要議題:教務部会、進路部会の各事業進捗報告) 書面会議にて開催
- 3月12日(木) 第3回(主要議題:2014年度事業報告、2015年度事業計画 他)

③ 京都高大連携研究協議会 高大連携教育プログラム検討部会(教務部会)

- 6月20日(金) 第1回(進路部会と同時開催)
- 10月31日(金) 第2回(主要議題:部会の各事業進捗報告)、書面会議にて開催
- 3月12日(木) 第3回(主要議題:2014年度事業報告、2015年度事業計画)

④ 京都高大連携研究協議会 高大情報発信交流検討部会(進路部会)

- 6月20日(金) 第1回(教務部会と同時開催)
- 10月24日(金) 第2回(主要議題:部会の各事業進捗報告)、書面会議にて開催
- 3月12日(木) 第3回(主要議題:2014年度事業報告、2015年度事業計画)

⑤ 高大連携推進室 室員会議

- 4月24日(木) 第1回(主要議題:第12回高大連携教育フォーラム企画内容について 他)
- 11月28日(金) 第2回(主要議題:第12回高大連携教育フォーラムの開催について 他)
- 3月31日(火) 第3回(主要議題:第13回高大連携教育フォーラム実施計画 他)

⑥ 高大連携プログラム検討ワーキンググループ

- 5月24日(土) 第1回(高大7年間で卒業し、社会に出て行く際に必要とされるものは何か?高校、大学でそれぞれに「求められるもの」「思い」について意見交換)
- 8月21日(木) 第2回(議題:大学コンソーシアム京都における新たな高大連携の取り組みに向けて)

⑦ 京都の大学「学び」フォーラム企画検討委員会

- 11月13日(木) 第1回(主要議題:京都の大学「学び」フォーラム2014の実施報告について他)
- 1月22日(木) 第2回(主要議題:京都の大学「学び」フォーラム2015について他)、書面会議にて開催

(2) インターンシップ事業

①インターンシップ研究会

- 6月20日(金) 第1回(主要議題:2014年度 授業概要について他)
- 10月17日(金) 第2回(主要議題:2015年度シラバスについて 他)
- 11月14日(金) 第3回(主要議題:2015年度講義計画について 他)
- 12月19日(金) 第4回(主要議題:2014年度インターンシップ・プログラムの総括について 他)
- 2月27日(金) 第5回(主要議題:2015年度インターンシップ・プログラムの運営について 他)

②インターンシップ・プログラム コーディネーター会議 (ビジネス・パブリック)

- 4月16日(水) 第1回(主要議題:2014年度インターンシップ・プログラム事業推進体制について 他)
- 6月14日(土) 第2回(主要議題:事前学習の進め方について 他)
- 6月28日(土) 第3回(主要議題:事前学習実施に関わる連絡事項について 他)
- 9月27日(土) 第4回(主要議題:事後学習の授業進行および事後学習以降のスケジュールについて 他)
- 12月4日(木) 第5回(主要議題:2014年度プログラム実施報告 他)

③インターンシップ・プログラム コーディネーター会議 (プロGRESS)

- 6月19日(木) 第1回(主要議題:2014年度インターンシップ・プログラム出願状況報告他)
- 7月10日(木) 第2回(主要議題:2014年度プロGRESSコースの進捗状況について 他)
- 10月2日(木) 第3回(主要議題:夏季休暇中の進捗状況について 他)
- 1月15日(木) 第4回(主要議題:2015年度の講義計画について、ワークシートの共有について 他)

以 上

教育開発事業部

(1) FD事業

【概要および実績】

<概要>

財団では、これまで実施してきた加盟校教職員の教育力向上を目的とした取組を、継続・発展させるため FD 事業を推進している。具体的には、「FD フォーラム」や、文部科学省戦略的・大学連携事業（2008～2010 年度）の採択をうけ開発実施した階層別 FD 研修を継続・発展させてきた。今後は、イベントの集客規模など数の追求だけではなく、加盟校や FD 関係者相互の事例発信と情報共有、交流機能の充実を図ることを課題としている。

◆FD フォーラム

近年、従来の講演傾聴型のスタイルから、一部グループディスカッションなどの参加型のスタイルを取り入れた分科会の配置、参加者の情報発信・共有・交流を促進させるためのポスターセッションなどを導入し、フォーラム参加者の満足度向上を目指してきた。2014 年度も、ポスターセッションを充実させるとともに FD 研究会委員会のメンバーと協力して参加者参画型の分科会を実施した。

◆階層別 FD 研修

現在の階層別 FD 研修（FD 執行部塾・Faculty Developer 塾・新任教員 FD 合同研修）は、補助事業期間から通算し、6 年目を迎えた。加盟校関係者のニーズに見合った FD 事業（コンテンツ・実施手法を含む）を、補助事業から切り離された現在の財団の体制・予算の中で実施した。Faculty Developer 塾にいたっては近年で最も参加者数が多い結果となり、それぞれの事業においてアンケートにて評価を行っているが、概ね満足度は高く、他大学教員や専門分野の異なる教員との交流といった点で多く評価いただいた。

◆FD 研究

本研究については 2 本のテーマを持った「本務校を持たない非常勤講師を対象とした FD 研修の実施についてのニーズ調査」及び「新任教員研修参加者への追跡調査」である。前者については、半数以上の加盟校が非常に必要と回答したことを踏まえ、試験的に既存加盟校常勤教員を対象にした研修の参加対象を加盟校に勤務する非常勤教員も含めて実施することを検討した。後者は研修自体のニーズが確認でき、特に授業運営方法と成績評価に関する要望が高く、これら 2 つの企画立案を大学教育パワーアップセミナーで取り扱っていくことが確認されるなどの実績をあげた。

◆高等教育イベント NAVI「教まちや」の活用

イベント情報投稿件数増加のための広報計画を立案し、ブログ機能の教まちや News にて、加盟校の特徴的な取り組みを取材することで、加盟校や FD 関係者相互の事例発信と情報共有、交流機能の充実を図った。

<実績>

◆大学教育パワーアップセミナー

《第 1 回 イマドキの学生を考える～学生の学びの実態とは：高校教育との接続から考える～》

日時：2014 年 11 月 17 日（月）18：00～20：00

場所：池坊短期大学 洗心館 6 階 第 1 会議室 参加者：21 名

講師：椋本 洋 氏（立命館大学 理工学部 講師）

《第 2 回 イマドキの学生を考える～学士とネットリテラシー：スマホ・SNS 利用の実際～》

日時：2014 年 12 月 15 日（月）18：00～20：00

場所：池坊短期大学 洗心館 6 階 第 1 会議室 参加者：17 名

◆京都 FDer 塾シンポジウム

日時：2015年1月24日（土）13：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 第1講義室 参加者：133名

内容：①基調講演「DPを実現するためのカリキュラム編成について」

川嶋 太津夫 氏（大阪大学 未来戦略機構 教授）

②事例紹介

古屋 謙治 氏（九州大学 基幹教育院 教授）

河原 宣子 氏（京都橘大学 看護学部 教授）

菊池 重雄 氏（玉川大学 教学部長 教授）

③パネルディスカッション

司会：安岡 高志 氏（立命館大学 教育開発推進機構 教授）

◆新任教員 FD 合同研修

《プログラムA》

日時：1日目 2014年9月6日（土）13：00～18：00

2日目 9月7日（日）10：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 2階 ホール

1日目<9月6日（土）>

	内容	講師・担当者
PM①	大学教員のキャリア開発	佛教大学 松本 真治先生
PM②	アイスブレイク	川面 きよ 専門研究員
PM③	授業デザインワークショップ	立命館大学 安岡 高志先生

2日目<9月7日（日）>

	内容	講師・担当者
AM①	学習支援・学生支援ワークショップ	京都大学 村田 淳氏
PM①	学習者中心の授業ワークショップ	佛教大学 篠原 正典先生

(1) 参加者数

9月6日・・・ 12名

9月7日・・・ 11名（うち1名は京都産業大学職員）

(2) 参加内訳

華頂短期大学：2名、京都工芸繊維大学：3名、京都大学：2名、京都看護大学：1名、
京都学園大学：1名、龍谷大学：1名、明治国際医療大学：1名、京都光華女子大学：1名

(3) 参加証、修了証発行者

参加証発行者数：10名

修了証発行者数：0名

※修了証は、プログラムA・プログラムBの両方を修了した方を対象に発行している。

《プログラムB》

日時：1日目 2015年3月7日（土）13：00～18：00

2日目 3月8日（日）10：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 2階 ホール

1日目<3月7日（土）>

	内容	講師・担当者
PM①	アイスブレイク	川面 きよ 専門研究員
PM②	京都の大学・大学のまち京都	山本 美奈 副事務局長
PM③	成績評価のためのワークショップ	京都産業大学 若松 正志先生

2日目<3月8日(日)>

	内容	講師・担当者
AM①	授業設計のための基礎知識ワークショップ	川面 きよ 専門研究員
PM①	授業実践ワークショップ	川面 きよ 専門研究員

(1) 参加者数

3月7日・・・ 7名(うち1名は京都産業大学職員)

3月8日・・・ 7名(うち1名は京都産業大学職員)

(2) 参加内訳

京都工芸繊維大学：3名、明治国際医療大学：2名、京都学園大学：1名、

(3) 参加証、修了証発行者

参加証発行者数：6名

修了証発行者数：3名

◆第20回FDフォーラム

■シンポジウム

日時：2月28日(土) 13:00～17:00 (参加者数：787名)

場所：同志社大学 室町キャンパス 寒梅館ハーディーホール

テーマ：学修支援を問う～何のために、何をどこまでやるべきか～

シポジスト：日向野 幹也 氏(立教大学 経営学部 教授)

溝上 慎一 氏(京都大学 高等教育研究開発推進センター 大学院教育学研究科 教授)

浜島 幸司 氏(同志社大学 学習支援・教育開発センター 准教授)

岡部 晋典 氏(同志社大学 学習支援・教育開発センター 助教)

コーディネーター：村上 正行 氏(京都外国語大学 マルチメディア教育研究センター 准教授)

■情報交換会

日時：2月28日(土) 18:30～19:30 (参加者数：229名)

場所：京都ブライトンホテル 地下「英の間」

■分科会(全14)

日時：3月1日(日) 10:00～15:30 (参加者数：797名)

場所：同志社大学 今出川キャンパス 良心館

	テーマ	申込	参加
1	大学教育における「対話」の可能性	79名	73名
2	キャリア教育再考!～今こそホンネで語り合おう～	97名	91名
3	学生FDと大学マネジメント	80名	74名
4	障がい学生支援FDの背景、現状および課題	78名	73名
5	反転授業により学生の能動的な学びへの転換をはかる	149名	131名
6	教育を通じた「建学の精神」の具現化	30名	22名
7	大学の英語教育の課題と対策	45名	42名
8	時代が求める新たな教養教育～「活用」と「探究」をキーワードとした教職協働～	44名	38名
9	学び合うコミュニティをつくる～学修支援とピア・サポート～	44名	41名
10	知識と思考のクラウド化にどう対応するか	44名	42名
11	全学的FD推進組織の現状と課題	43名	40名
12	小規模大学における学修支援	45名	43名
13	大学図書館からの学習支援の工夫～連携を視座に～	45名	45名
14	モチベーションクライシスと向き合う	44名	42名

【実施スケジュール（主要事項）】

9/6（土）～7（日）	新任教員合同研修 プログラムA（参加：9大学、12名）
9/11（木）	【外部報告】FDネットワーク代表者会議（JFDN）にてFD事業報告
11/17（月）	第1回 大学教育パワーアップセミナー（於 池坊短期大学） テーマ「イマドキの学生を考える～学生の学びの実態とは～」（参加：21名）
11/22（土）	大学コンソーシアム京都20周年記念講演会（参加：95名） テーマ「未来を切り拓く力をもった人材輩出にむけて～大学と高校が共に挑む次の20年～」
12/15（月）	第2回 大学教育パワーアップセミナー（於 池坊短期大学） テーマ「イマドキの学生を考える～学生とネットリテラシー～」（参加：17名）
1/24（土）	京都F Der 塾シンポジウム（参加：133名）
2/28（土）～3/1（日）	第20回FDフォーラム 会場：同志社大学 寒梅館及び良心館 「学修支援を問う ～何のために、何をどこまでやるべきか～」（参加：787名）
9月より分析	非常勤教員向け研修ニーズ調査（6月～8月）実施のフォローアップ（完了）
3/7（土）～3/8（日）	新任教員FD合同研修（参加：3大学、7名）

（2）SD事業

【概要および実績】

<概要>

大学職員の職能開発を目指すSD事業は、文部科学省の「学士課程教育の構築に向けて（答申）」（2008年）において「大学職員は、大学の管理運営に携わる、また、教員の教育研究活動を支援するなど、重要な役割を担っている。（中略）大学経営をめぐる課題が高度化・複雑化する中、職員の職能開発（SD）はますます重要となってきた。」と整理され、その重要性が強調されている。当財団では加盟校の大学職員の能力向上に寄与することを目的として、以下の企画を実施している。また、第4ステージプランにおいて、休止中の「大学アドミニストレータ研修」の再開に向けた検討の必要性が示されたことを受け、2015年度からの実施に向け、2014年度にプログラムを再開発した。

◆大学職員共同研修

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルを修得できる場として提供し、職務遂行能力向上に寄与する。2013年度にはプログラムの見直しを行い、2014年度以降の4ヵ年17プログラムの計画を策定した。2014年度は前期を中心に5プログラムを実施した。

◆SDワークショップ

実際の現場で働く職員の日常の課題や問題意識を共有する場として提供し、加盟校職員の日常業務の改善に寄与する。2014年度は3回程度実施した。

◆SDフォーラム

高等教育の動向を踏まえた先進事例紹介や外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として提供し、新たな知見修得、人的ネットワークの構築に寄与する。10月19日に実施した。

◆大学アドミニストレータ研修の見直し

2015年度の再開に向けて、プログラムを再開発した。2015年度から「SDゼミナール」として、計7回の講座と公開プレゼンテーションを柱とした企画を実施する。

◆その他

2年に1度のペースで改訂している「SDガイドブック」について2014年度中に通算3回目の改訂作業を実施し、「SDガイドブック2015」を発行した。また、加盟大学研修担当者からの研修ニーズを把握し、人材育成の現場の声を企画に反映できるように「大学職員向け研修」説明会兼担当者交流会を開催した。

<実績>

◆大学職員共同研修

《ビジネスマナー研修 基礎編》

日程：2014年3月20日（木）、25日（火）、26日（水）、6月6日（金）9：45～17:15

場所：キャンパスプラザ京都 参加者：61名

《円滑な交渉の進め方》

日程：2014年8月6日（水）9：45～17:15

場所：キャンパスプラザ京都 参加者：17名

《ロジカルシンキング》

日程：2014年8月8日（金）9：45～17:15

場所：キャンパスプラザ京都 参加者：18名

《効率的な会議の進め方》

日程：2014年9月3日（水）9：45～17:15

場所：キャンパスプラザ京都 参加者：15名

《業務の整理・整頓》

日程：2014年9月5日（金）9：45～17:15

場所：キャンパスプラザ京都 参加者：24名

◆SDワークショップ

《第1回 “時間”という財産を考えてみる。～仕事が倅せのひとつであるために～》

日程：2014年6月21日（土）13：00～17:00

場所：キャンパスプラザ京都 参加者：13名

講師：永井 あつ子氏（京都大学基礎物理学研究所事務長／前 総務部人事課人材育成室長）

《第2回 大学職員と高等教育政策 ～高等教育政策の読み方～》

日程：2014年11月8日（土）13：00～17:00

場所：キャンパスプラザ京都 参加者：18名

講師：白井 俊氏（文部科学省 高等教育局 大学振興課 課長補佐）

《第3回 学生の成長を促す職員 ～リフレクション活用事始め～》

日程：2014年12月20日（土）13：00～17：00

場所：キャンパスプラザ京都 参加者：20名

話題提供者：京都文教大学 教務課 課長 村山 孝道 氏

ワークショップコーディネーター：大学コンソーシアム京都 専門研究員 川面 きよ 氏

◆第12回SDフォーラム（2014年10月19日（日） キャンパスプラザ京都）

第1部 基調講演 10:00～12:00（話題提供80分、質疑応答40分）（参加者数：153名）

テーマ：実践知の獲得と自律的な成長:批判的思考の役割

講師：京都大学大学院教育学研究科 楠見 孝 教授

第2部 分科会(全6) 13：00～16：00

	テーマ	講師	申込	参加
A	学習者を支援する職員が「学ぶ」！	大阪大学未来戦略機構戦略企画室特任講師 小貫有紀子	30名	26名
B	「自律した大学職員になるために」 ～若手大学職員間のピア・サポートから考察する～	関西大学学生サービス事務局学生支援グループ 松田優一	30名	26名
C	産学協働教育のプロを目指す一産学協働教育「企業人と学生のハイブリッド」の実践知をたよりに一	大和電設工業株式会社 システム技術部長 渡辺卓也 同 SI 営業部 SE 課 谷 政則	25名	19名

	京都産業大学 共通教育推進機構 コーオプ教育研究開発センター課長補佐 山本 尚広		
D	「役割」と「責任」を明確にする人材の育成について	特定非営利活動法人ブレイブ・ヒューマン・エイド事務局次長 鶴巻 耕介	30名 28名
E	自律的人材のマネジメントを考える ～看護職の実践知に学ぶ～	同志社女子大学 現代社会学部教授 岡山 寧子 氏	21名 15名
F	リーダーシップで業務改善！	京都外国語大学 講師 岸岡 洋介 氏	30名 24名

③第3部 情報交換会 : 16:15～17:15

◆「大学職員向け研修」説明会 兼 担当者交流会

日程：2015年2月17日（火）15:00～16:30

場所：キャンパスプラザ京都 参加：14大学・短期大学14名

【実施スケジュール（主要事項）】

- 3/20, 25, 26 2014年度大学職員共同研修：ビジネスマナー研修基礎編1（参加：8大学48名）
- 4月24日（木）2014年度SD研修委員会委員長・副委員長打合せ
- 5月30日（金）大学職員のためのインストラクショナルデザイン入門研修（参加：8大学21名）
- 6月6日（金）大学職員共同研修：ビジネスマナー研修基礎編2（参加：6大学・機関10名）
- 6月19日（木）第1回アドミニ研修ワーキンググループ
- 6月21日（土）第1回SDワークショップ（参加：7大学12名）
“時間”という財産を考えてみる。～仕事が伴せのひとつであるために～
話題提供：京都大学基礎物理学研究所事務長／前総務部人事課人材育成室長 永井あつ子
- 7月16日（水）第2回アドミニ研修ワーキンググループ
- 8月6日（水）大学職員共同研修：円滑な交渉の進め方（参加：10大学、17名）
- 8月8日（金）大学職員共同研修：ロジカルシンキング（参加：11大学、18名）
- 9月3日（水）大学職員共同研修：効率的な会議の進め方（参加：13大学、16名）
- 9月5日（金）大学職員共同研修：業務の整理整頓（参加：13大学、24名）
- 10月19日（日）第12回SDフォーラム「変化の時代に求められる自律的人材」（詳細先述）
（参加：81大学・機関、153名）
- 10月30日（木）第3回アドミニ研修ワーキンググループ
- 11月8日（土）第2回SDワークショップ「高等教育政策を読み解く」（参加：13大学・機関、18名）
話題提供：文部科学省高等教育局大学振興課 課長補佐 白井 俊
- 12月16日（火）第1回SDガイドブック検討WG
- 12月20日（土）第3回SDワークショップ「学生の成長を促す職員～リフレクション活用事始め」
話題提供：京都文教大学教務課長 村山 孝道 （参加：19大学・短期大学20名）
ワークショップコーディネーター：大学コンソーシアム京都専門研究員 川面 きよ
- 2月17日（火）「大学職員向け研修」説明会 兼 担当者交流会（参加：14大学・短期大学14名）
- 3月20日（金）、25日（水）、26日（木）2015年度ビジネスマナー研修（基礎編）（申込：8大学・短期大学29名）

（3）国際連携事業

【概要および実績】

<概要>

「第4ステージプラン」は、これからの国際連携事業の方向性を、①留学生と日本人学生の相互交流の促進、②留学生受け入れ体制の強化、③学生の海外派遣、④グローバル化に対応した大学教職員の育成を主な柱として進めるとしている。

◆留学生と日本人学生の相互交流促進、留学生受入れ体制の強化

「大学のまち・学生のまち・京都」の海外への情報発信や留学生誘致、留学生と日本人学生の相互交流促進や、住宅支援・就職支援等の留学生受入れ強化を目指し、大学、日本語学校、専修学校、企業、公的機関等が一体となったオール京都の推進体制「留学生スタディ京都ネットワーク（仮称）」の構築に向けた関係機関等との調整を行った。

◆学生の海外派遣

2014年度も引続き単位互換を利用した豪州メルボルン（龍谷大）・米国ボストンプログラム（昭和女子大）を実施しつつ、内容の改善と参加者増に努めた。加盟校の学生全体の留学促進を目指し、大使館・諸関係機関と協力し留学フェア・ディベートフェアを開催したとともに、留学前準備のIELTS講座をレベル別に継続実施し、いずれも参加者多数・フィードバック良好であった。

◆グローバル化に対応した大学教職員の育成

前年度より実施した京都の大学教職員向け英語スキルアップ研修について、内容の充実を図り、継続実施した（計6回実施）。2013年度の参加者のフィードバックを元に、テーマの改編・回数の増加を検討し、パイロット的に教員向けのクラス「Active Learning in the Classroom」を開講し、加盟校教職員の参加および高いフィードバックを得た。

<実績>

【実施スケジュール（主要事項）】

4月上旬	単位互換事業 留学説明会(3月末より複数回開催)
4月25日(金)	龍谷大学国際文化学部主催 オーストラリアプログラム留学説明会
5月24日(土)	留学フェア in 京都 2014(参加357名)
6月7日(土)	第1回IELTS対策講座(ベーシッククラス)(参加18名)
6月18日(水)	ボストンサマーセッション オリエンテーション(参加6名)
7月19日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修(English Voice Training)(参加60名)
7月26日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修(Active Learning)(参加11名)
8/18~22	昭和女子大ボストンサマーセッション 現地視察
8/18~9/15	昭和女子大ボストンサマーセッションプログラム(参加6名)
8月23日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修(Telephoning and E-Mails)(参加23名)
9月6日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修(Everyday Communication)(参加23名)
9月18日(木)	フランス大使館関係者来訪対応
9月24日(水)	マレーシアペナン州関係者来訪対応
9月27日(土)	教職員対象英語スキルアップ研修(Discussion & Facilitartion)(参加20名)
10月7日(火)	オーストラリア大使館関係者来訪対応
10月7日(火)	パーラメンタリーディベートセミナー(京都市教育委員会・英検と共催) (参加219名：うち加盟大学学生・教職員167名、その他40名)
10月8日(水)	台湾 大学コンソ表敬訪問対応
10月11日(土)	第2回IELTS対策講座(アドバンスドクラス)(参加40名)
12月5日(金)	オーストラリア大使館主催国際シンポジウム参加(セッション報告)
12月13日(土)	大学のまち京都(京都市開催 京都への留学誘致イベント)(台北市)
通年開催	龍谷大学国際文化学部主催メルボルンプログラム留学説明会(年4回)
2月14日(土)~	龍谷大学メルボルン短期留学プログラム(～3/15)(参加15名)
3月22~26日	AP A I E 2015年度大会(北京市)参加

(4) 海外留学派遣プログラム開発支援事業

【概要および実績】

<概要>

2013年度より開始した「海外留学派遣プログラム開発支援事業」を継続実施した。当事業はグローバル化が進行する相互依存社会の中で、国際的な視野を持ち京都市域の活性化に貢献できる人材の育成および学生の海外留学促進を目的とし、大学コンソーシアム京都加盟大学・大学院・短期大学が実施する優れた海外留学派遣プログラムに対して、開発支援金を支給する京都市と当財団の協働事業である。10件の採択を行い、開発に要する経費（実費相当額）について、30万円を上限として支援した。

加えて、昨年度開発を支援した9件のプログラム実施報告書（提言レポート）の内容を評価し、3月28日は外部講演者を招いた成果報告会を開催し、全国より参加者があった。

<実績>

【2014年度採択プログラム一覧】（申請件数19件中10件採択）

N o	プログラム名	京都市の該当政策分野	大学・団体名	代表者氏名
1	理系のための英語で世界に発信できる能力を身に付けよう	1. 環境、11. 大学、12. 国際化、	同志社大学理工学部	林田 明
2	上久保ゼミナールサハリンプロジェクト	11. 大学、12. 国際化	立命館大学政策科学部	上久保 雅人
3	実践グローバル体験 イン チェンマイ	4. 市民生活とコミュニティ、9. 観光、12. 国際化	京都産業大学 国際交流センター	大坂 仁
4	「地球自然と共生を目指す」地域自然保全活動の体験型海外学習プログラム	1. 環境、4. 市民生活とコミュニティ、12. 国際化、27. 暮らしの水	龍谷大学政策学部	金 紅実
5	グローバル人材育成・海外IT体感プログラム	8. 産業・商業、9. 観光	同志社大学理工学部	土屋 隆生
6	海外環境スタディ 北米プログラム	1. 環境、11. 大学、12. 国際化、15. 地域福祉、20. 歩くまち、21. 土地利用と都市機能配置、27. 暮らしの水	立命館大学理工学部	塩見 隆生
7	海外環境スタディ マレーシア・シンガポールプログラム	1. 環境、6. 文化、8. 産業・商業、9. 観光、11. 大学、12. 国際化、23. 建築物、26. 消防・防災、27. 暮らしの水	立命館大学理工学部	内田 慎哉
8	イタリアの教育に学ぶ	12. 国際化、14. 障がい者福祉、18. 学校教育	京都文教大学臨床心理学部教育福祉心理学科	亀岡 正睦
9	Teaching experience in Australian schools	18. 学校教育、6. 文化	京都光華女子大学キャリア形成学部キャリア形成学科	Carolyn Wright
10	東アジア循環系経済圏の構築に関するトップデザイン	1. 環境	立命館大学政策科学部	周 瑋生

【2013年度採択事業 実施詳細】（採択9件）

N o	プログラム名	京都市の該当政策分野	大学・団体名	実施詳細
1	異なる社会制度下の低炭素都市構築に関する研究-京都と広州を事例に	1. 環境、2. 国際化	立命館大学政策科学 周 瑋生	実施: 2014.8.19-9.2 参加: 教員5名 学生15名
2	立命館大学政策科学部 研究入門フォーラム(中国フォーラム)	1. 環境、8. 産業・商業	立命館大学政策科学部 楊 秋麗	実施: 2014.8.25-9.3 参加: 教員2名 学生10名

3	タイ国の郷土学習を学び、京都の伝統文化の継承を考える	6.文化、18.学校教育	京都華頂大学現代家政学部 堀越 昌子	実施:2014.9.1-9.8 参加:教員2名 学生6名
4	世界と響き合う京都の伝統工芸	6.文化、12.国際化	京都工芸繊維大学大学院工芸 科学研究科 中野 仁人	実施:2014.3.20-3.24 参加:教員3名 学生6名
5	住むひとにも、訪れるひとにも魅力的でやさしい社会を考える(ソウルの若者や家族との交流を通して「韓国心・日本心」 「韓国文化・日本文化」を実感しよう	3.青少年の成長と参加、9.観光、12.国際化、13.子育て支援	京都華頂大学現代家政学部 吉田 博子	実施:2014.8.10-8.23(2名) 2014.9.1-2014.9.12(1名) 参加:学生3名(合計)
6	異文化理解セミナー(イギリス・イーストアングリア大学)	4.市民生活とコミュニティ、12.国際化、28.その他:歴史都市	立命館大学国際関係学部 石原 直紀	実施:2015.2.7-3.8 参加:学生22名
7	世界遺産の姉妹都市から、アートを街の活性化に活かすワザを学ぶ	6.文化、9.観光、12.国際化	京都造形芸術大学情報デザイン 学科 大西 宏志	実施:2015.2.7-2.17 参加:学生17名
8	産業と観光の融合する都市と青年の意識向上	8.産業、9.観光	京都産業大学経営学部 具 承桓	実施:2014.8.37-9.6 参加:教員1名 学生3名
9	国際競争力養成プログラム	11.大学、12.国際化	立命館大学政策科学部 上久保 誠人	実施:2014.8.15-8.19 参加:教員1名 学生4名
			合計	教員:14名 学生:86名

【実施スケジュール(主要事項)】

4月8日(火)	海外留学派遣プログラム開発支援事業説明会(申込み期間 4/1-5/15)
5月16日(金)	5/16-5/23 書類審査期間
5月28日(水)	第1回 海外留学派遣プログラム開発支援事業 運営委員会(採択 7件決定) 開発プログラム支援金 振り込み(第1次採択分)
6月中旬-7月上旬	6/3-7/5 同プログラム第2次募集締切
~7月5日(土)	採択予定案件3件決定
7月23日(水)	第2回 海外留学派遣プログラム開発支援事業 運営委員会(メール審議)
~7月25日(金)	
10月23日	H25年度採択プログラム学内成果報告会取材(京都造形大学)
7月-年度末	開発プログラム実施
H26年度中-年度末まで	H25年度実施プログラム 京都市への提言(実施報告書)締切 (実施後一か月以内まで、それぞれのプログラム修了後提出)
2月28日	開発決算報告 締切(H26年度分)
1月下旬	第3回 海外留学派遣プログラム開発支援事業 運営委員会
3月28日	講演会および成果報告会(海外留学派遣プログラム開発支援事業)(参加60名)
3月31日	実施報告(京都市への提言レポート)(H25年度分)締切

(5) 短期留学受入事業

【概要および実績】

<概要>

京都市と協働で「京都ならではの短期留学受入プログラム」の開発を行った。2015年度から大学のまち京都の魅力を伝える2週間程度の短期受入れプログラムを実施し、加盟校の協力を得て留学生の誘致を図るもので、将来的には京都への長期留学につなげる、短期留学を終えた学生から京都の魅力を母国で発信してもらおうという狙いもある。2014年度中にプログラム検討委員会の立ち上げ、プログラム企画立案・内容確定、プログラムの広報（領事館等訪問やプログラム広報のためのウェブサイト整備）を行った。

<実績>

【実施スケジュール（主要事項）】

5月	京都市との協定締結
6月12日（木）	第1回運営委員会
7月	カリキュラム概要策定
8月1日（金）	第2回運営委員会
1月～	広報素材作成（手ぬぐい・プログラムパンフ）→各種イベント等で活用
3月1日～	2015年夏季プログラム募集開始

(6) 留学生支援事業

【概要および実績】

<概要>

「京都地域留学生住宅保証制度」は、一部の過年度継続案件の処理を除き、原則として2013年度を以って制度を終了としていたが、事故案件が発生したため2014年度も引き続き制度運営にあたった。

「京都地域留学生住宅支援制度」の運営については、当財団がその事務局を担い継続し、総会開催、会員証発行、包括契約書締結、機関保証事務、事故対応を行った。

<実績> 【京都地域留学生住宅支援制度】利用者数 平成27年3月末日現在

大 学	利用者数
京都市立芸術大学	3
京都府立大学	2
京都産業大学	6
京都造形芸術大学	49
佛教大学	2
龍谷大学	24
合計	86

各種委員会等の開催状況

(1) FD事業

① FDフォーラム企画検討委員会

6月27日(金)	第1回委員会
7月29日(火)	第2回委員会
10月1日(水)	第3回委員会
11月6日(木)	第4回委員会
1月29日(木)	第5回委員会
3月27日(金)	第6回委員会

② FD企画研究委員会

5月21日(水)	第1回委員会
6月18日(水)	第1回研修運営チーム会議
6月25日(水)	第1回企画開発チーム会議
7月30日(水)	第2回企画開発チーム会議
9月4日(木)	第2回研修運営チーム会議
9月10日(水)	第3回企画開発チーム会議
9月17日(水)	第1回調査研究チーム会議
10月22日(水)	第2回調査研究チーム会議
11月11日(火)	第4回企画開発チーム会議
11月12日(水)	第3回研修運営チーム会議
12月10日(水)	第5回企画開発チーム会議
1月9日(金)	第3回調査研究チーム会議
1月14日(水)	第4回研修運営チーム会議
1月21日(水)	第6回企画開発チーム会議
3月4日(水)	第5回研修運営チーム会議
3月12日(木)	第4回調査研究チーム会議
3月19日(木)	第2回委員会

(2) SD事業

③ SD研修委員会

5月7日(水)	第1回委員会
6月25日(水)	第2回委員会
9月30日(火)	第3回委員会
12月16日(火)	第4回委員会
3月12日(木)	第5回委員会

(3) 国際連携事業

④ 国際連携事業運営委員会

7月31日(木)	第1回運営委員会
----------	----------

⑤ 海外留学派遣プログラム開発支援事業運営委員会

5月28日(水) 第1回委員会

～7月25日(金) 第2回委員会(メール審議)

1月22日(木) 第3回委員会

⑥ 短期留学受入プログラム運営委員会

6月12日(木) 第1回委員会

8月1日(金) 第2回委員会

1月下旬 各委員にメール審議

⑦ 京都地域留学生住宅支援制度運営委員会

非開催

学生交流事業部

(1) 京都学生祭典事業

【概要および実績】 ※京都学生祭典の活動期間が1～12月であり、第12回および第13回が横断する。

●【概要】 東北プロジェクト「繋ぐ～KYOTOHOKU～」

日 程 2014年5月3日(土)～5日(月) @
会 場 福島県福島市・南相馬市・二本松市/宮城県仙台市・名取市
主 催 第12回京都学生祭典実行委員会
協 力 福島大学災害ボランティアセンター

<実績> 「被災した方々に元気と感動を届けに行く」「生の被災地や被災者と触れ合う中で、学生の成長の場とする」「東日本大震災の社会的風化を防ぐ」「京都で災害に対する意識を高める」の4点の目的のもと活動を実施した。実行委員が被災地の方々との交流を通して、どのような環境であっても「人との繋がり」が重要であるということを学んだ。

●【概要】 第12回京都学生祭典 リーダー研修

日 程 2014年5月17日(土)、24日(土) 10時00分～15時00分
会 場 キャンパスプラザ京都 5階第二共同研究室
主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 学生交流事業部

<実績> 当事業部の目標とする「学生の成長を促す仕組みを作る」を達成するため、まずはリーダー層にリーダーとしての自覚を促し、リーダーとして必要な資質を獲得してもらうべく当研修を実施した。

●【概要】 高校生企画(三重県海星高校)

日 程 2014年6月14日(土) 10時00分～11時35分
会 場 キャンパスプラザ 2階ホール
主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
共 催 第12回京都学生祭典実行委員会
協 力 私立海星高校

<実績> 「高校生の進路選択に役立ててもらおう」ことを目的に京都学生祭典実行委員会の部員によるエピソード紹介、マインドマップ作成を実施した。企画終了後には実行委員会内で振り返り会を実施することで実践の場の重要性を再認識することができた。

●【概要】 学生力 in KYOTO ～十人十色 京都の学び～

日 程 2014年7月5日(土)、7月6日(日) 11時00分～17時00分
※6日は雨天の為、屋内(センターコート)以外の企画は16時30分に終了
会 場 イオンモール KYOTO
主 催 第12回 京都学生祭典実行委員会

<実績> 本企画は、京都で学ぶ大学生の専門分野を来場者参加型の企画を通じて発表する場とした。規模の大きな企画であったため、企画趣旨と目標を全体で共有し、企画責任者が各担当の進捗状況を細かく管理することや、実行委員同士のコミュニケーションの重要性を見直す良い機会となり、事前企画として有益なものとなった。

●【概要】 第12回京都学生祭典 中間振り返り会

日 程 2014年8月5日(火) 18時10分～21時30分
会 場 キャンパスプラザ京都 4階第2講義室
主 催 第12回京都学生祭典実行委員会・公益財団法人 大学コンソーシアム京都
協 力 京都文教大学 総合社会学部 森正美教授

<実績> 各実行委員が自身の取り組んでいるタスクに追われている中、入会当初に設定した各自の目標と現在取り組

んでいる活動の方向性や達成度合を確認し、今の自分を顧みる機会となり、加えてそれを部署内で共有する場を提供することができた。また、グループ発表を通じ部署間連携の必要性、振り返った内容を言葉にして人に伝える重要性についてもお互いに認識できた。

●【概要】本祭告知展示企画

日 程 2014年8月22日(金)・23日(土)・30日(土)・31日(日)
2014年9月11日(木)・20日(土)・21日(日)

会 場 キタオオジタウン・イオンモール京都五条・イオンモール KYOTO・京都パルスプラザ

主 催 第12回京都学生祭典実行委員会

協 力 キタオオジタウン・イオンモール京都五条・イオンモール KYOTO・(公財)京都 SKY センター

<実績>今年初の試みとなった本企画は、本祭の開催告知はもちろん、日頃の取組みを広く認知してもらうために一部署が担当して実施したものだが、イオンモール京都五条での開催では、パネル展示の他、他部署による体験ブースも合同で行われ、展示企画単体での開催に比べより賑わった企画となった。部署毎の縦割り意識が強い実行委員会において他部署との連携が毎年課題である中、こうした体験もまた一つのきっかけとなり、部署間連携がいかに重要かつ効果的であるかを実感するよい機会となった。

●【概要】第12回京都学生祭典本祭

日 程 2014年10月12日(日) 11時00分～20時20分

会 場 平安神宮・岡崎公園一带

主 催 京都学生祭典実行委員会

共 催 京都学生祭典組織委員会(京都府、京都市、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会、公益財団法人 大学コンソーシアム京都)

協 賛 ローム(株)(特別パートナー協賛)、(株)GS ユアサ(KYO-SENSE サポーター協賛) 他
※物品協賛含め全111社

<来場者数> 103,000人

<実行委員数> 186名

<おどり手数> 993名

<短期ボランティアスタッフ数> 318名

<実績>今年度の本祭は、来場者数103,000人と、昨年と比べ7万人ほど減少という結果となった。会場全体を見れば、盛況な企画もあったが、台風が懸念された影響と、来場者の動線に対する策が十分でなかったためか、企画毎の賑わいに差が表れた。来場者数の実績も評価の指標ではあるが、当財団としてはこの活動を学生の成長の場としてサポートしており、後者については個人差はあるが成果が見られた。

●【概要】事後振り返り会

日 程 2014年10月19日(日) 17時00分～20時00分

会 場 キャンパスプラザ京都 第3講義室

主 催 京都学生祭典実行委員会、公益財団法人 大学コンソーシアム京都

講 師 京都文教大学 総合社会学部 森 正美教授

<実行委員数> 75名

<実績>8月に行われた中間振り返り会に引き続き、京都文教大学の森正美教授にお越しいただき、本祭後の振り返り会を実施した。学生実行委員に京都学生祭典での活動においてどのようなプロセスを経て、本祭当日においてどのような成果を挙げられたのか、そこで得られた成果を今後どのように活かすのか、という成長と貢献を客観視する場となった。また他者評価を記載したメッセージカードを学生間で共有することにより、学生の自己肯定感を高めることにも繋がった。

●【概要】成果報告会・感謝祭

日 程 2014年10月29日(水)

18時05分～19時30分:成果報告会・19時30分～21時10分:感謝祭

会 場 キャンパスプラザ京都 2階 成果報告会:第1会議室・感謝祭:ホール

主 催 京都学生祭典実行委員会、公益財団法人 大学コンソーシアム京都

参加者 成果報告会:46人、感謝祭:46人

＜実績＞成果報告会では、ステイクホルダーの方々への説明責任を果たすべく、実行委員会の活動内容や年間の実績を報告する第1部と、ステイクホルダーの方々に学生の成長を実感してもらうことを目的とした学生の自己成長実感報告の2部構成で行った。感謝祭はステイクホルダーの方々と実行委員との交流を図る中で、今年度にご支援いただいたことに対し感謝の想いを伝え、京都学生祭典をより理解してもらい、次年度以降の支援につなげることを目的として行われた。

●【概要】「学び」フォーラム 出展企画「大学生と！キャンパストーク」

日 程 2014年10月26日（土）13時10分～14時10分

会 場 同志社大学 今出川キャンパス 良心館 RY301

主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 高大連携・インターシッ^o 事業部

運 営 第12回京都学生祭典実行委員会

＜来場者数＞ 51名

＜実行委員数＞ 27名

＜実績＞ 高校生に大学の魅力を伝えることで大学進学という選択肢を視野に入れてもらい、大学進学を考えている高校生には大学に対する疑問を解消し不安を取り除くことをテーマに本企画を実施した。実行委員の代表2名が大学受験や大学生活についてプレゼンテーションを行うことで、高校生が大学に対するイメージを具体化し、将来の進路選択の参考になるような機会を提供した。

●【概要】「京都学生祭典の理念と課題、ステイクホルダーによる期待」研修会（以下第13回）

日 程 2015年1月17日（土）14時00分～17時10分

会 場 キャンパスプラザ京都5階第1共同研究室

主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

講 師 田中 克哉氏（実行委員OB・元財団職員）

＜実行委員数＞ 13名

＜実績＞ 第13回京都学生祭典が始動し、初めての研修会として、本事業の基本事項である「京都学生祭典の理念と課題、ステイクホルダーによる期待」についてレクチャーを行った。事業発足からこれまでの経過を説明し、レクチャーやグループワークを通して学生祭典に求められているニーズや課題を整理することで、これからの1年間の活動の目的を考える機会を提供した。

●【概要】「ODSC 策定（目標すり合せ）」研修会

[Object（目的）/Deliverable（成果物）/Success Criteria（成功基準）]

日 程 2015年1月24日（土）10時00分～17時20分

会 場 キャンパスプラザ京都5階第1共同研究室

主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

講 師 米本 隆彦氏（元財団職員）

＜実行委員数＞28名

＜実績＞ 前回の研修会でレクチャーした学生祭典の理念や目的、課題をベースに、チームとしての1年間の目標を洗い出し、それらの成果物や成功基準の設定を目指し、各自が目標をすりあわせる場を提供した。明確な成功基準（指標）を定めることが、ゴールを見据えた段取りを考える機会となり、またそれらを可視化し、チームで共有することがよりよい成果につながることを学生がイメージできる場となった。

●【概要】 国際交流企画「節分企画」

日 程 2015年2月3日（火）11時00分～15時00分

会 場 キャンパスプラザ京都5階第1共同研究室・八坂神社・高台寺その周辺

主 催 京都学生祭典実行委員会

＜実行委員数＞ 10名

＜参加留学生＞ 14名（中国5名、台湾3名、韓国1名、フランス1名、イタリア1名、ペルー1名、メキシコ1名、バングラデシュ1名）

＜実績＞ 国際交流企画の第1弾として試験的に実施した今回の節分企画は、十分な準備期間が設けられなかったものの、参加を希望する留学生が想定より多く集まり、ニーズのあるイベントであることが分かった。

●【概要】 学生成長実感調査に伴う成長指標作成ワークショップ

日 程 2015年2月4日（水）10時20分～12時30分
会 場 キャンパスプラザ京都5階第1共同研究室
主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
講 師 NPO法人 JAE 坂口氏他3名

<実行委員数> 9名（執行部）

<参加者> 15名（京都府・京都市・経済同友会・大学・コンソーシアム事務局）

<実績> 学生祭典の活動が学生にとって「学び」と「成長の場」である事をより明確に示すための指標を作ることを目的に実施した。グループワークを中心に、学生祭典を成功・発展させることができる学生実行委員の人物像や、求められる力量を洗い出すことで様々な能力を整理した。

●【概要】 「コミュニケーション・プレゼンテーション」研修会

日 程 2015年2月7日（土）13時00分～17時00分
会 場 キャンパスプラザ京都5階第2共同研究室
主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
講 師 米本 隆彦氏（元財団職員）

<実行委員数> 17名

<実績> コミュニケーション能力の基本となる、リフレーミングのテクニックやアサーティブな自己表現を学ぶことで、人との信頼関係を築くヒントを得るきっかけとなる研修会となった。相手の理解無くして相手と意思の疎通を図ることは困難であり、またプレゼンテーションをする上でもそれは同じことであるということに気付きを与え、実際にプレゼン発表してもらう事で研修がより実践が結びつけられるよう促した。

●【概要】 「ファシリテーション・質問力」研修会

日 程 2015年2月11日（水）13時00分～17時00分
会 場 キャンパスプラザ京都5階第1共同研究室
主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
講 師 米本 隆彦氏（元財団職員）・堀瀬 奈央（第13回実行委員長）

<実行委員数> 19名

<実績> 実行委員長自ら講師となり「①会議におけるファシリテーターとは？」「②ファシリテーションのスキルと効果」「③創造性を高める手法」といった基本事項を説明した。研修で得た知識をより「実践」に結びつけられるよう実行委員会におけるグランドルールを設定することを目指したワークを行った。また、会議をより円滑に進めるために必要な「質問力」を学ぶワークショップを実施した。「意見型」ではなく、「質問型」の投げかけによって相手の感じ方や行動がどのように異なるのかを学び、いかに相手が気持ちよく主体的に行動できるようになるか、日々の活動の具体例を交えながら考える機会を提供した。

●【概要】 「ビジネスマナー」研修会

日 程 2015年2月13日（金）13時00分～18時00分
会 場 キャンパスプラザ京都5階第2共同研究室
主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
講 師 上田 香里（学生交流事業部）

<実行委員数> 31名（内2名は映画祭実行委員）

<実績> 第一印象の重要性や言葉遣い、電話対応、名刺交換など社会人として身につけるべき基本の知識やマナーについて説明を行った。またロールプレイングやグループワークでは、「報・連・相」にまつわるトラブル事例を提示し、どう対応すればトラブルを回避できたのかを実行委員が当事者意識を持って考えるきっかけとした。

●【概要】 「アイデア力向上・企画書」研修会

日 程 2015年2月25日（水）14時00分～18時00分
会 場 キャンパスプラザ京都5階第1共同研究室

主催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
 講師 林 龍徳 (学生交流事業部)・漆間 智彦 (第13回企画運営部長)

<実行委員数>20名

<実績> アイデア創出の思考法として、ロジカルシンキング、ラテラルシンキング、クリティカルシンキング、それぞれの特徴を紹介し、企画実現へと繋げるための「目的の整理→シーズ・ニーズ調査→コンセプト作成→提案→企画への落とし込み」までの一連の流れを説明した。そして、考案した企画を実現するための企画書の書き方を学ぶため、各自で実際の企画を想定しながら企画書づくりを行い、企画書を書く意義や手順を学ぶ機会とした。

●【概要】国際交流企画「日本の遊び・文化体験企画」

日程 2015年3月19日(火)12時30分～18時00分

会場 元安寧小学校

主催 京都学生祭典実行委員会

<実行委員数>20名

<参加者> 22名(日本14名、中国3名・ポーランド2名・台湾1名・インドネシア1名・ベトナム1名)

<実績> 前回企画の参加者ヒアリングから「体験」をメインとした企画を実施した。実施内容はコマ、竹とんぼ、お手玉、投扇興等の日本の昔ながらの遊びや京都学生祭典オリジナルの京炎そでふれ!を踊ることを通じて日本文化を体験した。3月は留学生が本国に帰国する時期であり、参加者を集めることが困難であった。しかし、参加者を募る過程で京都府、京都市の留学生窓口や在京外国人コミュニティとつながったことにより、4月以降の企画の際に参加を呼びかける対象が大きく広がった。

●【概要】「広報プレスリリース」研修会

日程 2015年3月24日(火)14時00分～17時30分

会場 キャンパスプラザ京都5階第1共同研究室

主催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

講師 弓削 絵梨 (学生交流事業部)

<実行委員数>9名

<実績> 3月24日(火)、学生祭典の広報担当者を対象にした「広報プレスリリース」研修会を実施した。講師は財団職員の弓削氏が務めた。広報の役割は価値ある情報をメディアに売り込むことである。そのツールであるプレスリリースを作成する中で、多量の情報を少量の言葉で伝える難しさと大切さを説明した。ワークでは、実際にプレスリリースを書かせ、記者発表に挑戦させることで、発表者の視点と記者の視点を学ぶ良い機会とした。

●【概要】「ODSC 策定フォローアップ」研修会

日程 2015年3月28日(土)14時00分～16時00分

会場 キャンパスプラザ京都5階第1共同研究室

主催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

講師 遠塚谷 力 (学生交流事業部)

<実行委員数>11名

【実施スケジュール(上記以外)】

6/29(日)	祭典実行員会×おどり手 決起集会@みやこめっせ	9/29(月)～10/3(金)	本祭告知展示企画(@京都工芸繊維大学)
8/1・3・20・22・27	打ち水(@安寧・岡崎・三条地域)	10/4(土)・5(日)	短期ボランティアスタッフ説明会
8/2(土)	岡崎納涼祭り(@岡崎地域)	10/6(月)～10(金)	本祭告知展示企画(@京都教育大学)
8/3(日)	エコサマーフェスタ(@梅逕中学校)	12/7(日)	京炎そでふれ!祭(@梅小路公園)
8/31(日)	安寧地域夏祭り(@安寧小学校)	1/14(水)	(以下、第13回)第1回ワーキンググループ
9/14(日)	1か月前キャンペーン(告知キャラバン@三条・四条)	1/21(水)	第2回ワーキンググループ
9/28(日)	直前決起集会(@京都光華女子大学)	3/4(水)	第4回ワーキンググループ

第12回実行委員構成人数（2014.11.14現在）※最終値

構成人数 186名 / 20 大学 1 大学院 0 短期大学 0 専修学校（前年同月 235名） 加盟校 計 183名

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	4	3	京都橘大学	4	2
京都教育大学	5	4	京都ノートルダム女子大学		2
京都府立大学	4	2	京都薬科大学	1	2
大谷大学	4	3	種智院大学	1	
京都医療科学大学	12	6	同志社大学(大学院含む)	19	35
京都外国語大学	1	1	同志社女子大学	18	19
京都学園大学	2	3	佛教大学	5	6
京都光華女子大学	2	3	平安女学院大学	2	1
京都産業大学	10	12	立命館大学	28	27
京都女子大学	48	78	龍谷大学	12	14
京都精華大学		1	放送大学・京都学習センター	1	

非加盟校 計 3名（大阪産業大学 1名、京都芸術デザイン専門学校 1名、京都外国語専門学校 1名）

第12回おどり手構成人数（2014.11.14現在）※最終値

構成人数 995名 / 21 大学 1 短期大学 0 専修学校（前年同月 1,134名） 加盟校 計 994名

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	77	79	京都橘大学	93	115
京都工芸繊維大学	1		京都ノートルダム女子大学	26	32
京都府立大学	26	50	京都文教大学	30	17
大谷大学	11	7	京都文教短期大学	9	11
京都外国語大学	1	1	京都薬科大学	54	89
京都学園大学	1		種智院大学	1	3
京都華頂大学	2	1	同志社大学	106	106
京都光華女子大学	48	56	同志社女子大学	139	103
京都産業大学	50	66	花園大学	2	2
京都女子大学	163	195	立命館大学	95	82
京都精華大学	19	19	龍谷大学	40	95

非加盟校 計 1名（近畿大学 1名）

第12回短期ボランティアスタッフ（2014.10.15現在）※最終値

構成人数 318名 / 37 大学 3 大学院 2 短期大学 1 専修学校（前年同月 334名） 加盟大学・短期大学部 計 278名

大学・短期大学名	本年度	前年度	大学・短期大学名	本年度	前年度
京都大学(大学院含む)	5	5	京都光華女子大学	4	5
京都教育大学	14	14	京都産業大学	15	25
京都工芸繊維大学	5	1	京都女子大学	56	82
京都府立大学		1	京都橘大学	3	8
京都府立医科大学		1	京都ノートルダム女子大学	1	1
池坊短期大学	1		京都薬科大学	5	3
大谷大学	3	1	同志社大学	34	40
京都華頂大学		1	同志社女子大学(大学院含む)	11	23
京都医療科学大学	25	5	佛教大学	3	2
京都看護大学	2		平安女学院大学	5	
京都外国語大学	4	5	明治国際医療大学(大学院含む)	1	
京都学園大学	3	2	立命館大学	64	68
京都経済短期大学	1		龍谷大学	18	20
			放送大学		1

非加盟大学・大学院・短期大学・専修大学 計 35 名（摂南大学 1 名、名城大学 1 名、関西学院大学 10 名、滋賀県立大学 1 名、梅花女子大学 1 名、神戸大学 2 名、中国天津科技大学 2 名、湖南商学院 1 名、追手門学院大学 1 名、大阪市立大学 2 名、関西大学 4 名、藍野大学 2 名、大阪産業大学 2 名、大阪労災看護専門学校 1 名、奈良女子大学 1 名、大阪大学 1 名、神戸女子大学 1 名、大阪教育大学 1 名）

第 13 回実行委員構成人数（2015. 03. 23 現在）

構成人数 87 名 / 18 大学 1 大学院 0 短期大学 0 専修学校 加盟校 計 87 名（非加盟校 計 0 名）

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	44	79	京都橘大学	37	115
京都府立大学	11	50	京都ノートルダム女子大学	1	32
大谷大学	5	7	京都文教大学	16	17
京都外国語大学	3	1	京都文教短期大学		11
京都学園大学	1		京都薬科大学	22	89
京都華頂大学	2	1	種智院大学	1	3
京都光華女子大学	18	56	同志社大学	53	106
京都産業大学	25	66	同志社女子大学	86	103
京都女子大学	89	195	花園大学	1	2
京都精華大学	8	19	立命館大学	59	82
			龍谷大学	40	95

第 13 回おどり手構成人数（2015. 3. 20 現在）

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	3	4	京都橘大学	2	4
京都教育大学		5	京都ノートルダム女子大学	1	
京都府立大学	2	4	京都薬科大学		1
大谷大学	3	4	種智院大学		1
京都医療科学大学	7	12	同志社大学	13	19
京都外国語大学	1	1	同志社女子大学	4	18
京都学園大学	1	2	花園大学	1	
京都光華女子大学	2	2	佛教大学	2	5
京都産業大学	2	10	平安女学院大学	2	2
京都女子大学	17	48	立命館大学(大学院含む)	14	28
京都精華大学		1	龍谷大学	9	12
			放送大学・京都学習センター	1	

非加盟校 計 1 名（関西学院大学 1 名）

(2) 京都国際学生映画祭事業

【概要および実績】

本事業は、上映機会の少ない学生が制作した自主映画を世界各地より集め、上映する機会を学生が創り出すことを通して、学生が成長する機会を創出し続け、人生を変える程の気づきを与えるものである。

●【概要】 第17回京都国際学生映画祭

- 日 程 2014年11月22日(土)～11月28日(金)
 ※授賞式・グランプリ作品上映：11月28日(金)
- 会 場 京都シネマ
- 主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
- 後 援 京都府,京都市,京都府教育委員会,京都市教育委員会,京都新聞,朝日新聞京都総局,読売新聞京都総局,産経新聞社京都総局,日本経済新聞社京都支社,中日新聞社京都支局,NHK 京都放送局,KBS 京都,α-STATION エフエム京都,FM802,近畿経済産業局,国際交流基金京都支部
- 連 携 東京学生映画祭、TOHO シネマズ学生映画祭、日本学生映画祭、春の高校生放送フェスティバル in Kyoto、京丹後フィルムコミッション、立命館大学広告研究会「カモシネマ実行委員会」、田辺・弁慶映画祭実行委員会、立誠シネマプロジェクト、MOOSIC LAB
- 協 賛 (株)AOI Pro.,(株)おいかぜ,(株)京都アニメーション,京都府生活協同組合連合会,キョーワファシリテーターズ(株),ジュネス法律事務所,全国大学生協京滋・奈良ブロック,(株)ディレクターズ・ユニブ,(株)同志社エンタープライズ,(株)VCC 企画,(株)ミラノ工務店 [物品協賛] ㈱ユーキャンパス

<実績> 準備段階では広報制作物の大幅な遅れにより具体的な広報活動は本祭直前期のみになった事が反省点である。招待チケットの効果か本祭1日平均集客率は39.38人と昨年度よりも約3.5名(昨年度35.94人)増加した。上映作品の選定基準の不透明性や実行委員数が少ない中での運営、また映画発祥の地としての本映画祭認知度向上など課題が残った。

●【概要】 事後振り返り会

- 日 程 2014年12月5日(金) 19時00分～21時30分
- 会 場 キャンパスプラザ京都 5階第2共同研究室
- 主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

<実績> 実行委員の活動における想い、考えをもととする行動やその結果が自分や周囲にどんな影響を与えたのかを言語化し、自分と向き合う機会を提供した。個人に焦点を当て、映画祭活動の核となるコンペティション審査が自分にもたらした影響や今後活かされそうなこと、とった切り口から自身の成長を実感させるきっかけを与え、この貴重な経験が今後のステップに生かされるよう促した。

【実施スケジュール (主要事項)】

3/10(月)～5/16(金)	第17回 コンペティション作品募集	11/8(土)	田辺・弁慶映画祭連携企画 (@和歌山県田辺市)
4/6(日)～25(金)	審査勉強会(審査の練習、審査基準の設定と徹底)	11/9(日)	第4回日本学生映画祭 in 京都 (@京都文化博物館)
4/26(土)～8/12(火)	コンペティション一次審査会(全350本⇒80本)	11/14(金)	立命館大学上映会 (@立命館フュッジャ・スタジオ)
8/6・10・26	翻訳ボランティア説明会	11/22(土)～28(金)	第17回京都国際学生映画祭
8/14(木)～21(木)	2次審査のための事前鑑賞会	12/5(金)	事後振り返り会
8/20(水)～21(木)	京丹後フィルムコミッション連携企画実施 (@京丹後市)	2015/2/13(金)	ビジネスマナー研修(2名)
8/23(土)	カモシネマ10(立命館広告研究会)連携企画 (@鴨川河川敷)	2/27(金)	京都国際学生映画祭WEBサイトオープン
8/25(月)	2次審査会(80本⇒11本)	3/16(月)	第18回京都国際学生映画祭コンペティション作品募集開始
10/4(土)	最終審査会(11本⇒グランプリ2本、審査員特別賞1本)	3/28(土)	「少人数で行うマネジメント」研修
10/日(水)	MOOSIC LAB 連携企画 (@元立誠小ホール)	3/28(土)	新規実行委員説明会
10/23(木)	同志社大学上映会 (@同志社大学)		

実行委員構成人数 ※第17回実行委員数

構成人数 24 名 / 12 大学 0 短期大学 0 専修学校 (前年同月 21 名) 加盟校 計 22 名

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	2	2	京都造形芸術大学	4	1
京都工芸繊維大学		1	京都薬科大学	2	
京都外国語大学	2		同志社大学	2	4
京都嵯峨芸術大学	2		佛教大学	2	1
京都女子大学		1	立命館大学	3	6
京都精華大学		3	龍谷大学	3	1

非加盟校名 計 2 名 (関西大学 1 名、京都伝統工芸大学校 1 名) (前年度：非加盟校関西大学 1 名)

特記事項

進捗報告 (第 17 回)

①コンペティション部

・募集結果

(本)

	国内	海外	総数
2014 年度受付作品数	163	187 (27 か国)	350
2013 年度受付作品数	210	147 (21 か国)	357
2012 年度受付作品数	235	127 (22 か国)	362

- ・ 8 月 25 日入選作品確定 全 11 作品 (国内 4 本、海外 7 本)
- ・ 最終審査員：中井圭氏(映画評論家)、原一男氏(映画監督)、ドン・ブラウン氏(字幕翻訳家)
- ・ 来場作家用宿泊先手配
- ・ 翻訳ボランティア(応募総数 25 名)
- ・ 上映素材順次提出(9 月 30 日完了)→劇場へ完全パッケージ納品 (11 月 8 日完了)
- ・ グランプリ作品 ※観客賞は映画祭開催中観客アンケート集計結果により決定
 - i 短編部門『Ketchup Kid』(国籍：オーストリア 学校名：Filmacademy Vienna)
 - ii 長編部門『小村は何故、真顔で涙を流したのか?』(国籍：日本 学校名：大阪芸術大学)
 - iii 審査員特別賞：『Aibert』(国籍：ポーランド 学校名：Lodz Film School)
 - iv 観客賞：『Ketchup Kid』(国籍：オーストリア 学校名：Filmacademy Vienna)

②広報部

- ・ Web サイトブログ更新 (入選作品発表、最終審査員公表、プレ企画告知、本祭告知、協賛紹介) / SNS 随時更新/外部サイト、各種情報誌掲載 (新聞社：朝日新聞、京都新聞) / 簡易チラシ(京都市内各映画館、映画イベント、各企画連携先にて配架)

9 月下旬	第 17 回メインビジュアル決定	11 月 12 日	リーフレット納品
10 月 18 日	チケット納品	11 月 19 日	実行委員 T シャツ納品
10 月 20 日	ポスター納品	11 月 21 日	第 17 回カタログ納品
10 月 24 日	本祭・各プログラムトレーラー随時公開		

③企画部

・実施企画

(1)プレ企画：5 企画(8~11 月)

- i. 8 月 20・21 日：京丹後フィルムコミッション連携企画
京丹後市民対象上映・交流会、高校生対象ワークショップ (@京丹後市)
- ii. 8 月 23 日：カモシネマ 10(立命館大学広告研究会)連携による野外上映会 (@鴨川河川敷)
- iii. 10 月 8 日：MOOSIC LAB 連携による過去入選作品上映企画 (@元立誠小シアター)
- iv. 10 月 11 日：高校生企画事前交流会 (「高校生企画」参加高校生同士の交流会)
- v. 10 月 23 日：同志社大学上映会 (@同志社大学)
- vi. 11 月 9 日：日本学生映画祭にて 3 大学生映画祭でのグランプリ作品上映 (@京都文化博物館)
- vii. 11 月 8 日：田辺・弁慶映画祭にて過去入選作品上映・告知 (@和歌山県田辺市)
- viii. 11 月 14 日：立命館大学上映会 (@立命館大学シチズンシップ・スタディーズ)

- (2)本祭企画：4企画（11月22～28日） ※iii ivは「家族」を題材に取り上げた作品を地域別に選定して上映
- i. 高校生企画「映画と僕らの交差点～高校生作品集『センバツ！十代の才能』～」
第7回春の高校生フェスティバル in kyoto での入選作品を特集上映、トークショー
10月11日：事前交流会開催（@キャンパスプラザ京都）
 - ii. 関西企画「関西ある視点～飛び出せ！関西の巨匠たち～」
今年度応募作品の内、関西からのコメディタッチの作品を選定して上映、トークショー
11月13日：事前交流会開催（@キャンパスプラザ京都）
 - iii. 「World Wide Collection～What's a family?～ヨーロッパ編」
 - iv. 「World Wide Collection～What's a family?～アジア編」

④渉外部

- ・協賛獲得企業：13社、獲得金額：48万円
- ・個人サポーター：獲得数：15件、獲得金額：35,000円（一口1,000円×35口）
- ・物品協賛：ユーキャンパス（グランプリトロフィー×2=15220円）
- ・協賛企業へのお礼訪問および事業報告書の送付

⑤全体

・本祭プログラム

	22日(土)	23日(日)	24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)
①	コンペA	コンペC	W.W.C. Eu.	コンペA	コンペB	W.W.C. Asia	※
②	コンペB	高校生企画	コンペD	関西企画	コンペC	コンペD	授賞式

①…16：30～18：30 ②…19：00～21：00（コンペDのみ～21：20）

※授賞式・グランプリ上映・徹底討論…18：20～21：20

・来場者数結果：計512名

プログラム別来場者数内訳一覧

	11/22(土)	11/23(日)	11/24(月)	11/25(火)	11/26(水)	11/27(木)	11/28(金)	合計
16：30～	A	C	W.W.Cヨーロッパ	A	B	W.W.Cアジア	—	
18：30	46	54	28	27	28	30	—	213
19：00～	B	高校生企画	D	関西企画	C	D	授賞式※	
21：00	35	36	26	48	36	44	74	299
合計	81	90	54	75	64	74	74	512

※11/28(金) グランプリ作品上映・授賞式のみ 18：00～20：20にて開催

各種委員会等の開催状況

(1) 第12回京都学生祭典事業

① 事務局会議

- 2月21日(金) 第1回(主要議題:第11回決算報告、第12回実行委員紹介、事業方針 他)
5月22日(木) 第2回(主要議題:施工警備業務委託について、東北企画報告、本祭概要 他)
6月26日(木) 第3回(主要議題:施工警備業務委託について、代表者訪問 他)
8月19日(火) 第4回(主要議題:本祭実施企画、補正予算、第13回京都学生祭典準備会発足 他)
11月11日(火) 第5回(主要議題:本祭開催報告、決算見込、第13回京都学生祭典準備会発足 他)

② 企画検討委員会 全体会議

- 2月26日(水) 第1回(主要議題:第11回決算報告、第12回事業方針、学生祭典の税務申告 他)
8月29日(金) 第2回(主要議題:本祭実施企画、補正予算、第13回京都学生祭典準備会発足 他)
11月14日(金) 第3回(主要議題:本祭開催報告、決算見込、第13回京都学生祭典準備会発足 他)

③ 企画検討委員会 常任会議

- 5月30日(金) 第1回(主要議題:本祭概要、交通規制、個人ポスター、短期ボランティア募集 他)
6月30日(月) 第2回(主要議題:施工警備業務委託について)※書面決議
8月22日(金) 第3回(主要議題:本祭実施企画、補正予算、第13回京都学生祭典準備会発足 他)

④ 組織委員会

- 3月19日(水) 第1回(主要議題:第11回決算報告、第12回事業方針、学生祭典の税務申告 他)
9月9日(火) 第2回(主要議題:本祭実施企画報告、補正予算、第13回京都学生祭典準備会発足)
11月18日(火) 第3回(主要議題:本祭開催報告、決算見込、第13回京都学生祭典準備会発足 他)

(2) 第13回京都学生祭典事業

①事務局会議

- 12月19日(金) 第1回(主要議題:実行委員紹介、予算案素案、委員会体制、委員委嘱他)
1月28日(水) 第2回(主要議題:決算報告、事業方針、年間予定、予算案、規定制定)

②企画検討委員会 全体会議

- 2月25日(水) 第1回(主要議題:決算報告、事業方針、予算案、規程制定 デザインコンペ他)

③企画検討委員会 常任会議

- 2月13日(金) 第1回(主要議題:決算報告、事業方針、予算案、規定制定 デザインコンペ 他)

④組織委員会

- 3月26日(木) 第1回(主要議題:決算報告、事業方針、予算案、規定制定他)

(3) 第17回京都国際学生映画祭事業

企画検討委員会

- | | |
|-----------|--|
| 6月5日(木) | 第1回(主要議題:コンペ応募状況、一次審査状況、最終審査員、企画案提出 他) |
| 8月27日(水) | 第2回(主要議題:コンペ応募結果・二次審査・最終審査員報告、企画案提出 他) |
| 10月16日(木) | 第3回(主要議題:コンペ最終結果、本祭プログラム枠、広報協力依頼 他) |
| 12月16日(火) | 第4回(主要議題:第17回実施報告、第18回委員会発足 他) |
| 2月10日(火) | 第5回(主要議題:第17回事業報告書提出、第18回コンペティション募集 他) |

調査・広報事業部

(1) 調査企画事業

【概要および実績】

<概要>

第4ステージプラン（2014～2018年度）の策定過程において、加盟校や会員となっている自治体・経済団体ほか京都地域のステークホルダーの理解や協力のもと、財団として今後進めるべき事業を、調査・研究に基づいて適切に説明し、その実施後の効果についても広く公開することが求められている。また、加盟校に対するヒアリング調査の結果、財団における調査・研究機能の確立について、特に現行プログラムの見直しと新たな事業展開の判断材料の両面において、その必要性を求める声が多く寄せられた。

調査企画事業では、これらの検討結果や要望をうけて、中長期的な事業の検討や事業自体の大胆な見直し、また、その判断の基礎となる調査・研究活動を担うため、2014年度は下記の取組みを中心として、調査・企画機能の充実を図った。

- ① 財団基礎調査の実施、データ収集、分析、事業部や専門委員会等へのフィードバック
- ② 調査・研究課題選定、共同研究プロジェクト（仮称）の組織化
- ③ 京都市と連携した大学のまち京都・学生のまち京都推進会議事務局機能の発揮
- ④ その他（20周年企画、第4ステージプラン周知、財団20年記録集約に伴うデータ収集等）

<実績>

◆財団基礎調査

- *2013年度財団事業実績の集約（2014年3月末締切）
- *実績データの確認・編集作業

◆共同研究プロジェクト

- *2015年度本格稼働に向けた準備・予備調査（財団事務局内 ～4月中旬）
- *プロジェクト組織化に向けた作業計画について提案（5/7次長会議、5/14運営委員会幹事会）
- *調査企画事業に関する専門委員会の設置について提案（12/3次長会議、12/10運営委員会幹事会、1/14運営委員会）

◆大学のまち京都・学生のまち京都推進会議

- *2014年度委員人選・就任依頼手続き（6/23就任承諾済み）
- *その他、会議体については「各種委員会等の開催状況」参照

◆その他

- *第4ステージプラン冊子（5/21納品、加盟校等関係団体へ送付済）

【特記事項】

『第4ステージプラン（2014～2018年度）～京都地域における学生の「学びと成長」の支援をめざして～』の配付（6月運営委員会、6月理事会）

(2) 広報事業・共同広報事業

【概要および実績】

1) 広報事業

<概要>

第4ステージプランの策定にあたっての加盟校アンケート・ヒアリングで、財団事業の認知が不十分であることが明らかになった。2014年度広報事業では、財団の取組みの認知度を上げることを目標に、情報

発信機能の強化を図り、財団事業を支える構成員である加盟校の財団に対する求心力を高めていくことをめざす。具体的には以下の取組みを行った。

- ① 財団 Web サイトのリニューアル（2014年7月）と Web および SNS コンテンツの充実による発信機能の強化とアクセス数増加の追求
- ② 広報冊子（財団紹介 information 冊子、会報、財団紹介資料）の発行

<実績>

◆Web サイトリニューアル・SNS 運用

- * 基本デザイン・仕様の調整、サイトマップの作成
- * 2013 年度アクセス実績の解析、状況分析
- * 「リニューアル Web サイト講習会」開催（6/19）
- * リニューアル Web サイト開設（7/1）
- * リニューアル Web サイト 事業別アーカイブページ順次作成（8/31）

◆広報冊子

- * 財団紹介 information 冊子
 - ・発行準備、編集方針の策定
 - ・納品（7/17）、関係機関へ送付済
- * 会報
 - ・発行、編集方針の策定
 - ・特集記事の取材・インタビュー（完了）
 - ・会報納品（1/29）、加盟校他関係機関へ送付
- * 財団紹介資料
 - ・2014 年度版完成（随時更新）

◆来訪記録

* 2014 年度 財団への外部訪問者受け入れ実績

No.	日程	所属
1	2014/8/8	独立行政法人 国際協力機構（JICA） 中東・欧州部 中東第二課
2	2014/9/24	マレーシアペナン州／京都外国語大学／京都外大西高校
3	2014/9/25	フランス大使館
4	2014/10/7	オーストラリア大使館
5	2014/10/8	財団法人高等教育国際合作基金会／日本台湾教育センター／台北駐大阪弁事処文教課
6	2014/10/9	名古屋市総務局企画課
7	2014/10/10	椋山女学園
8	2014/10/21	株式会社さがみはら産業創造センター
9	2014/10/28	八王子市市民活動推進部学園都市文化課
10	2014/11/6	神戸市企画調整局企画調整部／大学コンソーシアムひょうご神戸
11	2014/11/11	大阪大学大学院文学研究科／大阪大学総務企画部国際交流課
12	2014/11/21	福岡歯科大学 教育支援・教学 IR 室
13	2015/1/9	公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩
14	2015/2/17	大学コンソーシアム沖縄
15	2015/3/6	一般社団法人 大学コンソーシアム熊本
16	2015/3/10	K B S（韓国国営放送）

2) 共同広報事業

<概要>

前述の加盟校アンケート・ヒアリングでは、共同入試広報事業に関して、従来型のブース出張広報が、当初事業目的（中小や短期大学における入学者確保のための広報）を十分に果たせていないことが指摘さ

れている。一方で、教育・研究活動を継続的に発展させるためには、入学定員が安定的に確保される必要があり、志願者と入学者の確保が加盟校の重点課題であることに変わりはない。京都地域における入学者確保は、入学者に占める他府県出身者が相対的に多く地元高校生が少ないという基本構造からも、また首都圏主要私大の入試戦略動向からも今後厳しさを増してくることは明らかである。

こうした環境に対応するため、本事業では大学都市京都のブランディングにあたって、京都で学ぶことの魅力・優位性を十分に発信することで、財団事業を支える構成員である加盟校等の財団に対する求心力を改めて高めていくことをめざして下記の取組みを行った。

- ① 共同広報冊子「京都の大学 学びスタイル」の編集・発行
- ② 京都市・民間事業者と協力した修学旅行における高校生・大学生共同企画「京都B&Sプログラム」の広報協力と効果分析

<実績>

【実施スケジュール（主要事項）】

6月6日（金）	共同広報冊子「京都の大学 学びスタイル」発行・納品・随時加盟校などへ発送
6月12日（木）	「京都B&Sプログラム」加盟校への協力依頼
7月1日（火）	Web サイトリニューアル
7月10日（木）	「京都B&Sプログラム」プレスリリース
7月17日（木）	財団紹介冊子 発行
7月中	Web サイト アーカイブページ作成
8月～	財団会報冊子 コンテンツ作成・情報収集開始
8月～	「第11回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」ポスターセッション
9月13日（土）	第11回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム ポスターセッション
11月20日（木）	「京都B&Sプログラム」中学生校外学習同行
1月29日（木）	財団会報冊子 発行

（3）都市政策研究推進事業・学まちコラボ事業

【概要および実績】

<概要>

本財団では、かねてより、京都のまちの魅力を向上させることを目的に、加盟校が持つ知恵と人材を生かして地域の発展や活性化に寄与する研究や事業を推進してきた。2014年度は、財団中期計画「第4ステージプラン」で示された「京都のまちの魅力向上に資する地域の発展・活性化をめざした研究や調査、また京都地域をフィールドとした活動支援」を引き続き実施した。

また、現状では必ずしも事業の認知度が高くないことを踏まえて、趣旨や特色・魅力を広く周知し、多くの大学からの参加が得られるよう工夫を図った。

- ① 京都から発信する政策研究交流大会
- ② 学まちコラボ事業
- ③ その他（世界歴史都市会議ユースフォーラム参加者募集・審査支援）

◆京都から発信する政策研究交流大会

本大会は、キャンパスプラザ京都を拠点に学生・大学院生に政策研究の成果発信の場を提供し、日頃の活動の成果の発表を通じて交流を深め、都市政策に活かすことを目的としている。

現状では政策系大学・学部の参加にとどまっているので、2014年度においては、参加者をそれ以外からも増やす事業内容を検討した。その取組みの一つとして、口頭発表分科会のテーマを従来の大会で実施していた自由テーマだけでなく、新規大学・学部等から参加してもらえるようなテーマを設定することとした。これにあわせ、2014年度から本大会の支援を担当する専門委員会「都市政策研究会」の参加大学・学部の領域を拡大し、名称も「都市政策研究推進委員会」に変更して活動した。

なお、交流大会では、大会を運営する学生実行委員の主体性や自立性を引き出しつつ、財団事業として

実施するに相応しい内容と質を、上記専門委員会の助言を得ながら担保した。

※今年度の特別テーマ：「芸術文化を活かした都市政策」

「ワーク・ライフ・バランスを実現するための都市政策」

※上記テーマに基づく都市政策研究推進委員会新任委員

芸術文化分野：成美大学経営情報学部 准教授 滋野 浩毅 氏

社会福祉分野：京都光華女子大学健康科学部 教授 佐々木勝一 氏

◆学まちコラボ事業

財団は、京都市と連携協力し、大学の求める人材育成に資する実践的教育・研究機会の確保と、地域ニーズに基づき大学の知や学生の活力を生かした課題解決や地域活性化を目的として、大学と地域との連携による取組みに対して助成金を交付する「大学地域連携創造・支援事業（愛称：学まちコラボ事業）」を京都市からの委託事業として当財団が取り組んできた。

2014年度は、これまでの経過を踏まえ、優れた地域連携の実績を持つ継続活動団体と、先進性・モデル性を持つ活動団体をバランスよく支援できるよう、下記の通り申請要件を一部修正し実施した。

2013年度	2014年度	変更理由
継続事業が支援を受けられるのは5年以内	要件をなくす（年数にかかわらず認定されれば支援を受けられる）	・事業継続年数で一律に申請不可とするよりも、モデル性や先進性も含めた審査によって判断する方が事業趣旨に合致するため ・新規事業と継続事業を明確に区分することが困難であるため

◆その他

2014年9月に開催される第14回世界歴史都市会議ユースフォーラム（中国揚州市）において、京都市代表として参加する学生グループの募集・審査を都市政策研究推進委員会が担当した。

<実績>

◆京都から発信する政策研究交流大会

- * 学生実行委員会委員募集（4月中旬～5月末）
- * 政策交流大会学生実行委員会（参加者10：9/3現在）
- * 第1回実行委員会にて担当決定
京都文教大学2名、京都橘大学2名、龍谷大学2名、立命館大学2名、同志社大学1名、同志社大学大学院1名（前期：木曜、土曜／後期：水曜、木曜の交互で委員会開催）
- * 「京都から発信する政策研究交流大会」Twitter・Facebookアカウント開設
- * 発表者募集広報（募集チラシ作成・配布、財団Webサイト、Twitter・Facebookにて周知）
- * 京都から発信する政策研究交流大会 事前交流会（10/25）参加者59 ※学生実行委員除く
- * 大会当日発表者64件（口頭発表55・パネル発表9、他 辞退10）※11/27現在
- * 審査対象外）行政パネル展示7件（京都府1・京都市5・コンソーシアム1）
- * 来場者募集広報（募集チラシ作成・配布、財団Webサイトにて周知）
- * 第10回京都から発信する政策研究交流大会 開催（12/7）参加者377（発表者262、聴講者115）

●学生実行委員：10名

	担当	大学	学部	回生	氏名
1	委員長	京都文教大学	総合社会学部	3	福埜 裕
2	副委員長	京都橘大学	現代ビジネス学部	2	今泉 郁美
3	学生企画	龍谷大学	政策学部	2	鶴丸 優太
4	学生企画	立命館大学	政策科学部	3	角 裕哉
5	学生企画	同志社大学大学院	総合政策科学研究科 博士後期課程	2	坂口 紗姫
6	学生企画	京都文教大学	総合社会学部	3	中畑 伶威

7	広報	京都橘大学	現代ビジネス学部	2	岡村 有希子
8	広報	立命館大学	政策科学部	3	兼田 郁花
9	書記	龍谷大学	政策学部	2	辻 淳志
10	書記	同志社大学	経済学部	4	榎本 裕子

●発表者数：64組（口頭発表55、パネル発表9）※その他、行政展示発表7件

大学名	第10回 (H26)		第9回 (H25)		第8回 (H24)	
	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	パネル
京都大学	1 (1)	0	2 (2)	0	1(1)	0
京都府立大学	4	1	4	0	1(1)	0
京都学園大学	0	0	1	0	0	0
京都産業大学	3	0	5	1	2	2
京都女子大学	0	0	0	0	0	4
京都橘大学	6 (3)	0	3	0	6(1)	0
京都文教大学	4	0	3	0	2	1
同志社大学	5	0	3(1)	1	3(1)	1
佛教大学	12	1	7(1)	1	15	2
立命館大学	11 (3)	7	13(3)	7	10	6
龍谷大学	9 (1)	0	8(1)	1	4	2(2)
関西大学	0	0	2	0	2	0
合計	55 (8)	9 (0)	51(8)	11 (0)	46(4)	18 (2)

※（ ）内は大学院生の数

※今年度参加校数9校

●来場者数：377名（発表者＋一般聴講者（学生実行委員、職員、審査員は除く。））

	第10回	9	8	7	6	5	4	3	2	1
来場者数	377	362	317	410	545	524	420	632	149	238

<第10回来場者数内訳>

	一般参加者	発表者			合計
		口頭	パネル	計	
京都大学	2 (2)	5 (5)		5 (5)	7 (7)
京都府立大学	6	16	4	20	26
京都産業大学	10	25		25	35
京都橘大学	0	11 (3)		11 (3)	11 (3)
京都文教大学	7	14		14	21
同志社大学	3	19		19	22
佛教大学	1	37	7	44	45
立命館大学	2 (1)	26(3)	35	61(3)	63(4)
龍谷大学	44 (1)	63(1)		63(1)	107(2)
その他（一般）	40				40
小計	115(4)	216(12)	46 (0)	262 (12)	377(16)

※（ ）内は大学院生の数

◆学まちコラボ事業

* 2014年度活動団体募集（4月1日～5月16日）

* 第1次審査実施（6月11日）

【申請件数】27件（25年度33件、24年度13件、23年度15件）

* 審査・採択（6月29日公開プレゼンテーション）

【採択件数】16件 ※うち1件は奨励事業として採択（25年度17件、24年度8件、23年度8件）

* 採択事業認定式（7/9 京都市役所：京都市長より認定証授与）

- * 採択事業 中間報告書提出 (10/24)
- * 採択事業 成果報告会・次年度募集説明会 (3/29)
参加者数：131名 最優秀団体：都ライト '14

《2014年度採択結果》

●関連大学別件数

関連大学名	申請件数	採択件数
京都大学	2.33	1
京都市立芸術大学	2	2
京都府立大学	0.14	0.14
京都外国語大学	0.14	0.14
京都学園大学	1	0
京都経済短期大学	1	1
京都光華女子大学	2	2
京都嵯峨芸術大学	1	1
京都産業大学	3.48	0.14
京都女子大学	0.33	0
京都精華大学	1	1
京都造形芸術大学	2.64	1.64
京都橘大学	0.25	0
京都文教大学	0.25	0
同志社大学	0.48	0.14
花園大学	1	1
佛教大学	0.25	0
立命館大学	2.31	1.64
龍谷大学	5.39	3.14
総計	27	16

※合同申請事業は大学数で案分して計上

※京都造形芸術大学は奨励賞団体1件を含む

●支援事業別件数 15件 (新規6件、継続9件)

	事業名	団体名【関連大学名】	新規・継続	行政区	助成申請額	助成決定額
1	ふしみ・ふかくさ コミュニティーアーカイブ	ふしみ・ふかくさコミュニティーアーカイブ プロジェクト【龍谷大学】	新規	伏見区	300,000	300,000
2	音もだち大作戦！ ～0歳からの音楽ワークショップ～	京都市立芸大生有志によるニコニコフ ァミリーコンサート実行委員会 【京都市立芸術大学】	新規	下京区	109,100	109,100
3	梅津学区ひとつなぎ大作戦 ～住み手と町をつなぎ町と学区をつ なぐ	梅津自治会連合会(担当:梅津まちづく り委員会)+立命館大学乾ゼミ 【立命館大学】	新規	右京区	300,000	300,000
4	地域の魅力的な生活文化空間発見 ×茶の湯のもてなし発信プロジェクト	花園大学茶道部和敬會 有志 【花園大学】	新規	東山区	300,000	300,000
5	嵐山アートプロジェクト	京都嵯峨芸術大学芸術学部デザイン 学科観光デザイン系【京都嵯峨芸術大 学】	継続	右京区	300,000	300,000
6	京北宇津ふれあい学びあい	京都精華大学京北宇津宝さがし会 【京都精華大学】	継続	右京区	300,000	300,000
7	都ライト'14	都ライト実行委員会【同志社大学, 京都 産業大学, 立命館大学, 京都府立大 学, 龍谷大学, 京都造形芸術大学, 京	継続	上京区 伏見区	250,000	250,000

		都外国語大学、関西外国語大学】				
8	たがやせ、キャンパス！ @深草町家	特定非営利活動法人深草・龍谷町家コミュニティ(学生団体京まちや七彩コミュニティ)【龍谷大学】	継続	伏見区	200,000	200,000
9	京都三条会商店街寺子屋事業	京都光華女子大学 光華三条ガールズ【京都光華女子大学】	継続	中京区	300,000	300,000
10	嵐山と桂川を“いかだ”でつなぐプロジェクト2014	京都大学環境デザイン学研究室「嵐山景観きりこみ隊」【京都大学】	継続	右京区 西京区	300,000	300,000
11	地域と大学の共生プロジェクト	京都経済短期大学・地域と大学の共生プロジェクト【京都経済短期大学】	新規	西京区	263,000	263,000
12	人をつなげる豊園縁側プロジェクト	人をつなげる豊園縁側プロジェクト実行委員【龍谷大学】	継続	下京区	260,180	260,180
13	なんやかんや大原野！ 魅力発信事業プロジェクト	なんやかんや大原野【京都市立芸術大学】	継続	西京区	300,000	300,000
14	女子大生の考える鹿肉普及活動	京☆しかミーツ【京都光華女子大学】	新規	右京区	300,000	300,000
15	記憶と記録のことおこし ～陶器人形の復活～	京都造形芸術大学 近代産業遺産アート再生プロジェクト「まか通Ⅷ」【京都造形芸術大学】	継続	東山区	300,000	300,000

●奨励事業1件（新規1件）

	事業名	団体名【関連大学名】	新規・継続	行政区	助成申請額	助成決定額
1	京都銭湯芸術祭	京都銭湯芸術祭実行委員会【立命館大学・京都造形芸術大学・同志社大学】	新規	北区 上京区	300,000	100,000

◆その他

- * 世界歴史都市会議ユースフォーラム参加者募集（4月25日～6月3日）
- * 応募者2件（京都大学大学院1件、龍谷大学政策学部1件）
- * 一次審査（応募者2名のため実施せず、2名とも二次審査へ）
- * 二次審査（7/4プレゼンテーション審査・選考委員会：京都大学大学院のグループに決定）
- * 世界歴史都市会議ユースフォーラム参加（会期9月2日～4日。9月1日出発、5日帰国）

【実施スケジュール（主要事項）】

4月1日（火）	2014年度学まちコラボ事業 申請受け付け開始（～5/16）	
4月25日（金）	第14回世界歴史都市会議ユースフォーラム参加者募集開始（～6/3）	
6月5日（木）	第1回政策交流大会学生実行委員会	
7月9日（水）	2014年度学まちコラボ事業 認定式、助成スタート	
9月2日（火）	第14回世界歴史都市会議ユースフォーラム（中国揚州市）	
～9月4日（木）		
9月30日（火）	第10回京都から発信する政策研究交流大会	発表者募集締切
10月25日（土）	第10回京都から発信する政策研究交流大会	事前交流会
12月7日（日）	第10回京都から発信する政策研究交流大会	当日

（4）未来の京都創造研究事業（シンクタンク事業）

【概要および実績】

<概要>

当財団の都市政策研究推進事業の一つとして、大学研究の知を調査・研究を通して地域社会へ還元する事業を当財団と京都市（以下、市と略す）が「未来の京都創造研究事業」として2011年度に共同で開始

した。

本事業の柱は大きく二本ある。一つは当財団が持つ大学や研究者との豊かなネットワークを生かして、未来の京都づくりに向けた政策や事業を創造するための調査・研究を行うことである。もう一つは、最先端の研究に取り組む意欲ある若手研究者等の発掘・育成とネットワーク形成を目指すことである。本事業における調査・研究の最大の特徴は、一般的な委託研究ではなく、研究者と市の職員が共同して調査・研究を進めることで市の政策や事業に、より実践的に生かしやすいということである。

また、上記の調査・研究テーマ設定に生かすことを目的に、市が毎年実施している「市民生活実感調査」の結果を分析している。

本事業は2011年度からの3か年計画で推進し、2013年度末をもっていったん節目を迎えたが、この間の実績を生かし、引き続き2014年度以降も、指定課題への「大学都市政策課題」の追加や自由課題における若手研究者優先枠の新設など、一部運営方法を見直したうえで事業を展開した。なお、事業継続にあたっては、本事業の認知度が加盟校や市民に必ずしも高くない現状を改善し、事業の趣旨や研究成果を広く内外に周知することが課題となる。

<実績>

◆研究助成事業

*2014年度指定課題

- ①行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の施行に伴う個人情報保護・管理・利用及び活用のあり方に関する研究
- ②都心部地域での事業者等の交流の場づくりに関する研究
- ③（大学都市政策課題）外国人留学生の大学卒業後の就業に関する動向の分析と自治体・企業等・大学における支援方策に関する研究

*応募要項内容の確定。募集開始

*募集締切（5/23）

【申請数】指定課題① 1件、指定課題② 2件、指定課題③ 4件、自由課題6件（うち若手枠5件）、継続課題1件

*採択研究決定（6/6 第2回事業運営委員会）

指定課題①：「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下「番号法」という。）の施行に伴う個人情報保護、管理、利用及び活用のあり方に関する研究」 同志社大学法学部 教授 佐伯 彰洋

指定課題②：「交流の場づくりによる事業者・市民の育成とネットワーク形成にかかわる実証研究」 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科デザイン学部門 准教授 西村 雅信

指定課題③：「外国人留学生の大学卒業後の就業に関する動向の分析と自治体、企業及び大学における支援方策に関する研究」

立命館大学政策科学部 教授（キャリアセンター部長） 石原 一彦

自由課題：「京都市郊外の市営住宅とその周辺住宅地における空間構成と変遷について」 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科博士後期課程 政木 哲也

自由課題：「京都市における「フューチャーセンター」を活用した次世代型市民協働政策についての研究」

京都府立大学公共政策学部 講師 杉岡 秀紀

継続課題：「京都市内における住宅庭の環境及びその減少が街区の生物相に与える影響」

京都大学地球環境学堂 教授 柴田 昌三

*2013年度継続課題 三者面談（6/5 京都市、研究代表者、シンクタンク事業担当）

*2014年度指定課題・自由課題 三者面談（6/20～8/1 計5件）

*各大学との研究委託契約、研究者との覚書締結、調査・研究費支払手続完了

*2013年度事業研究成果報告書 製本完了（関係機関へ送付済）

*2014年度指定課題・自由課題 研究視察、現地調査同行（8月末～随時）

- *2014年度第3回事業運営委員会・中間報告会（11/5）
- *研究だより第2号発行（12/19）
- *研究だより第3号発行（2/17）
- *研究だより第4号発行（3/10）
- *研究成果報告会・交流会（3/17）※成果報告会：参加者91名、交流会参加者62名
- *研究だより第5号発行（3/31）

① 市民生活実感調査

- *平成25年度「市民生活実感調査」に係る分析結果報告書 製本完了（関係機関へ送付済）
- *平成26年度「市民生活実感調査」に係る第1回分析方針検討会議（8/27）
- *平成26年度「市民生活実感調査」に係る第2回分析方針検討会議（10/23）
- *平成26年度「市民生活実感調査」に係る分析作業（11/13～）
- *平成26年度「市民生活実感調査」に係る第3回分析方針検討会議（1/30）

【実施スケジュール（主要事項）】

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 4月25日（金） | 2014年度調査研究募集開始 |
| 5月23日（金） | 2014年度調査研究募集締切 |
| 6月6日（金） | 調査研究の研究者決定（第2回未来の京都創造研究事業運営委員会） |
| 6月20日（金） | 指定課題・自由課題（計5件） |
| ～7月22日（火） | 京都市、研究代表者、シンクタンク事業担当との三者面談 |
| 8月20日（水） | 2013年度未来の京都創造研究事業 研究成果報告書 製本・配布 |
| 8月29日（金） | 2013年度市民生活実感調査に係る分析結果報告書 製本・配布 |
| 11月5日（水） | 調査・研究の中間報告会（第3回未来の京都創造研究事業運営委員会） |
| 11月5日（水）～ | 調査・研究の中間報告会を基に、必要に応じ調査・研究支援及び内容修正協議 |
| 12月19日（金） | 研究だより第2号発行 |
| 2月17日（火） | 研究だより第3号発行 |
| 3月10日（火） | 研究だより第4号発行 |
| 3月17日（火） | 研究成果報告会・交流会 |
| 3月31日（火） | 研究だより第5号発行 |

【特記事項】

3月17日（火）に調査・研究の成果報告会・交流会を実施。6つの調査・研究テーマすべての成果について研究代表者から報告を受けた。今後、それぞれの成果報告書の提出を受け、1つの報告書として取りまとめて発行する。

各種委員会等の開催状況

(1) 調査企画事業

①大学のまち学生のまち推進会議

- 6月25日(火) 第1回大学のまち京都・学生のまち京都推進会議
12月16日(火) 第2回大学のまち京都・学生のまち京都推進会議

②プロモーション専門部会

- 7月25日(金) 第1回 プロモーション専門部会
8月21日(木) 第2回 プロモーション専門部会
9月9日(火) 第3回 プロモーション専門部会
11月7日(木) 第4回 プロモーション専門部会

③学生の活動支援専門部会

- 6月28日(土) 第1回学生の活動支援専門部会
3月15日(日) 第2回学生の活動支援専門部会

(2) 広報事業・共同広報事業

専門委員会等なし

(3) 都市政策研究推進事業・学まちコラボ事業

①都市政策研究推進委員会

- 4月18日(金) 第1回(主要議題:委員の役割分担 他)
7月4日(金) 第2回(主要議題:ユースフォーラム審査 他)
9月12日(金) 第3回(主要議題:京都から発信する政策研究交流大会 学生企画等計画報告他)
11月28日(金) 第4回(主要議題:京都から発信する政策研究交流大会 論文審査・当日運営他)
2月20日(金) 第5回(主要議題:京都から発信する政策研究交流大会 開催報告・次年度検討)

②学まちコラボ事業(大学地域連携創造・支援事業)選考委員会

- 6月11日(水) 第1回(主要議題:一次選考委員会)
6月29日(日) 第2回(主要議題:二次選考委員会)
11月5日(水) 第3回(主要議題:採択事業取組状況報告、事業報告会運営確認他)
2月6日(金) 第4回(主要議題:次年度実施検討、事業報告会運営確認他)
3月29日(日) 第5回(主要議題:採択事業成果報告会・交流会、次年度事業募集説明会)

(4) 未来の京都創造研究事業(シンクタンク事業)

①未来の京都創造研究事業運営委員会

- 4月11日(金) 第1回(主要議題:指定課題のテーマ決定他)
6月6日(金) 第2回(主要議題:指定課題・自由課題の研究者採択決定)
11月5日(水) 第3回(主要議題:研究者からの中間報告とそれに対する意見交換等)
3月17日(火) 第4回(主要議題:研究者からの成果報告とそれに対する意見交換等)

総務部

(1) 総務業務（庶務・法人運営）

【実績】

①各加盟校からの学生数の報告等に基づき、加盟団体からの会費の徴収を行った。

②20周年記念講演会・懇親会を開催した。

日 程 2014年11月22日（土）10時30分～13時30分

会 場 キャンパスプラザ京都 第2講義室（講演会）、ホール（懇親会）

主 催 公益財団法人 大学コンソーシアム京都

<概要>

・20周年記念講演会（10:30～12:20）

主催者挨拶 赤松徹眞 大学コンソーシアム京都理事長、龍谷大学学長

記念講演 テーマ：「未来を切り拓く力をもった人材輩出にむけて

～大学と高校が共に挑む次の20年～」

講 師：塩瀬隆之 京都大学総合博物館准教授（技術史担当）

前 経済産業省 産業技術政策課・課長補佐

・20周年記念懇親会（12:30～13:30）

主催者挨拶 門川大作 大学コンソーシアム京都顧問、京都市長

来賓挨拶 岩永美好 京都府政策企画部企画監

乾杯 八田英二 同志社大学教授、前 大学コンソーシアム京都理事長

閉会挨拶 赤松徹眞 大学コンソーシアム京都理事長、龍谷大学学長

・参加者数： 99名（講演会：90名、懇親会：61名 / 加盟校44名、非加盟校5名、
高校関係者11名、自治体7名、経済団体2名、民間企業21名、その他9名）

③諸規定類の改正、制定を行った。

④賛助会員退会手続：

・キノビクス株式会社（2014年3月31日付、2014/7/9 運営委員会承認）

・関西ティー・エル・オー株式会社（2015年3月31日付、2015/4/8 運営委員会承認）

・株式会社 同志社エンタープライズ（2015年3月31日付、2015/4/8 運営委員会承認）

(2) 財務・経理業務

【概要および実績】

本業務は、財団の予算執行管理を統括するもので、2014年度の主要な業務進捗状況は下記の通り。

<実績>

2014年4月においては、主に年度末および年度初めの経理処理および2013年度決算書の作成にあたった。また、4月19日（土）のオリエンテーションにおいて、仕事のすすめ方BOOKにより、支出伝票等について説明した。

【実施スケジュール（主要事項）】

5月21日（水） オリエンテーションにおいて、仕事のすすめ方BOOKにより財務（予実管理）について説明

6月3日(火)	平成25年度決算事務局原案了承
6月4日(水)	同上事務局案として確認・決定
6月5日(木)	同上京都市決算報告
6月6日(金)	同上監事決算監査
6月12日(木)	同上理事会(書面)での決議
6月28日(土)	同上評議員会での決議、内閣府報告
11月～1月	2014年度補正予算策定
12月～3月	2015年度予算策定

(3) 研修業務

【概要および実績】

財団職員の力量向上を目指した研究企画の策定・実施を目的とする。昨年度より、従来単発的におこなってきた研修事業を、可能な限り体系化し、財団職員が参加時に研修の目的や到達目標を予め理解して計画的に参加できるよう工夫を図ってきた。研修の実施にあたっては事業部を横断する研修担当チームを編成し、企画運営した。事務局合同研修は部署理解をテーマとし、プロアクション・カフェの手法を取り入れるなどの工夫をした。また、SPODフォーラム等の外部研修の利用も積極的に行った。

<実績>

【実施スケジュール(主要事項)】

4月16日(水)	2013年度出向満了者業務成果報告会(3回目)(参加:28名)
5月31日(土)～	大学教育学会第36回大会
6月1日(日)	
6月18日(水)	ハラスメント相談研修
8月27日(水)～	SPODフォーラム2014
8月29日(金)	
9月6日(土)～	大学行政管理学会研修集会
9月7日(日)	
9月26日(金)	組織マネジメントと目標管理について
10月15日(水)	SPOD・大学行政管理学会研修集会報告
10月29日(水)	部署理解研修
11月19日(水)	予算管理担当者オリエンテーション
12月13日(土)	事業計画進捗確認・意見交換会
2月5日(木)	広報スキル研修
3月11日(水)	プレゼンテーション研修

(4) 全国大学コンソーシアム協議会事業

【概要および実績】

<概要>

本事業では、全国の大学コンソーシアム組織(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織「全国大学コンソーシアム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行っている。2014年度は、情報交換・交流の場として開催している「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」も11回目を数えるに至った。

日 程 2014年9月13日(土) 12:00～20:15、14日(日) 9:30～11:30

会 場 いわて県民情報交流センター アイーナ
 主 催 全国大学コンソーシアム協議会／いわて高等教育コンソーシアム
 後 援 文部科学省など 18 団体

<実績> 参加者数

内容	テーマ	参加人数	備考
全体	大学間連携と地域活性化への取り組み	280 名	報告者等、市民参加者、実行委員、運営スタッフ含む
情報交換会		約 200 名	於：ホテルメトロポリタン盛岡本館
第 1 分科会	コンソーシアムと企業との連携 ～IC カードとキャンパスリポーターによる地域活性化	33 名	教育ネットワーク中国
第 2 分科会	未内定卒業生 20%12 万人の防止策、インターンシップについて	37 名	学術・文化・産業ネットワーク多摩
第 3 分科会	国際交流とコンソーシアム	39 名	大学コンソーシアム大阪
第 4 分科会	復興と連携	54 名	いわて高等教育コンソーシアム

第 11 回フォーラムのいわて高等教育コンソーシアム加盟大学参加状況（全参加者 280 名中 93 名【33.2%】）

【実施スケジュール（主要事項）】

- 5 月 22 日（木） 2013 年度監査報告（監事）
- 9 月 13 日（土） 第 11 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム（1 日目：シンポジウム、ポスターセッション、高等教育報告等）、協議会総会【岩手】
- 9 月 14 日（日） 第 11 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム（2 日目：分科会）【岩手】
- 1 月 15 日（木） フォーラム報告集 発行
- 3 月 27 日（金） 全国大学コンソーシアム取組事例集 発行

各種委員会等の開催状況

(1) 総務業務(庶務・法人運営)

① 運営委員会

- 5月14日(水) 第1回(主要議題:各事業部主要企画等報告 他)
- 6月11日(水) 第2回(主要議題:2013(平成25)年度事業報告及び決算について 他)
- 7月9日(水) 第3回(主要議題:各事業部事業進捗 他)
- 9月10日(水) 第4回(主要議題:コンプライアンスの徹底・情報セキュリティに係る取組について 他)
- 10月8日(水) 第5回(主要議題:各事業部主要企画等報告 他)
- 11月12日(水) 第6回(主要議題:2015年度事業計画策定及び予算編成に当たっての基本方針について 他)
- 12月10日(水) 第7回(主要議題:2015年度以降の障害学生支援事業の取り組み方針について 他)
- 1月14日(水) 第8回(主要議題:2014(平成26)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補正予算について 他)
- 2月12日(木) 第9回(主要議題:2015年度機関会議等開催日程について)
- 3月11日(水) 第10回(主要議題:2015(平成27)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画・予算について)

② 理事会

- 6月12日(木) 第1回(主要議題:2013(平成25)年度事業報告及び決算について 他) ※書面
- 6月28日(土) 第2回(主要議題:運営委員の選任について 他)
- 10月11日(土) 第3回(主要議題:2014(平成26)年度 第3回評議員会(書面会議)の開催について 他) ※書面
- 11月22日(土) 第4回(主要議題:コンプライアンスの徹底・情報セキュリティに係る取組について)
- 1月24日(土) 第5回(主要議題:2014(平成26)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補正予算について 他)
- 3月28日(土) 第6回(主要議題:2015(平成27)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画・予算について)

③ 評議員会

- 6月28日(土) 第1回(主要議題:2013(平成25)年度事業報告及び決算について 他)
- 6月28日(土) 第2回(主要議題:議長・副議長の選任について)
- 10月31日(金) 第3回(主要議題:理事の辞任・選任について) ※書面
- 3月28日(土) 第4回(主要議題:2015(平成27)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画・予算について) ※書面

(2) 財務・経理業務

専門委員会等なし

(3) 総務業務(庶務・法人運営)

専門委員会等なし

(4) 全国大学コンソーシアム協議会事業

① 全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会

5月24日(土) 第1回運営委員会(主要議題:決算・予算・事業計画等)【京都】

9月14日(日) 第2回運営委員会(主要議題:第11回フォーラム結果・第12回準備進捗)【岩手】

3月7日(土) 第3回運営委員会(主要議題:予算・第12回フォーラムについて)【石川】

② 全国大学コンソーシアム協議会 幹事会

7月22日(火) 第1回幹事会(主要議題:会員入退会)【書面】